

**唐津市民の結婚に関するアンケート
調査報告書**

令和5年9月

唐津市

地域交流部移住定住促進課

= 目次 =

I.	調査の概要	1
1.	調査の目的	2
2.	調査の概要	2
3.	本書の見方	2
II.	調査結果の詳細	3
1.	対象者の属性	4
2.	婚姻状況と結婚願望.....	5
3.	唐津市婚活事業	10
4.	婚活状況	16
5.	唐津市の婚活イベントについて.....	19
6.	唐津市のサポートについて.....	25
III.	調査結果の要約	30
1.	婚姻状況と結婚願望.....	31
2.	考察～婚活事業の方向性～.....	34
附.	Web調査画面.....	37

I. 調査の概要

1. 調査の目的

唐津市民に対して結婚に関するアンケートを行い、今後の出会い応援施策の参考とする。

2. 調査の概要

(1) 調査方法 : Web アンケート

①唐津市が条件該当者を抽出し、アンケート依頼文(Web アンケート QR コードつき)を郵送する。

②対象者は QR コードから Web アンケートサイトにアクセスして、アンケートに回答する。

(2) 対象者 : 唐津市在住の 25～39 歳の男女

(3) 回収数 : 発送数=4,000 回収数=499(有効票=492+無効票=7)

(4) 実査期間 : 依頼状発送日 2023 年 7 月 18 日 ～ 回収締め切り日 2023 年 7 月 31 日

(5) 実施機関 : (株)ココト

3. 本書の見方

① 集計は、小数点第二位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0%にならない場合がある。

② 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の設問については、全ての比率を合計すると100.0%を超える場合がある。

③ nは、基数となるべき実数であり、設問に対する回答者数である。

④ 「-」は回答者がいないことを示す。

⑤ 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

⑥ クロス集計のグラフ内割合表記において、紙面の制約上省略しているもの(0.0%)がある。

⑦ クロス集計による分析に際して、nが30未満の場合は参考として記載している。

II. 調査結果の詳細

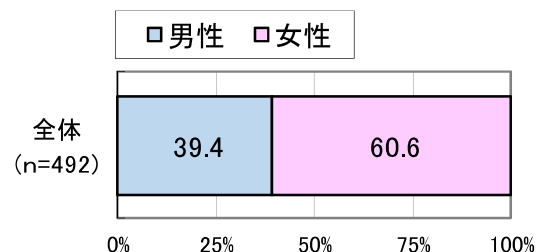
1. 対象者の属性

(1) 性別・年齢

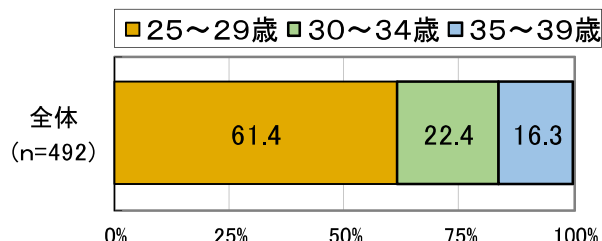
性別は男性が 39.4%、女性が 60.6%で女性の方がやや多い。

年齢は 25～29 歳が 61.4%で 6 割を超える。

Q1.性別



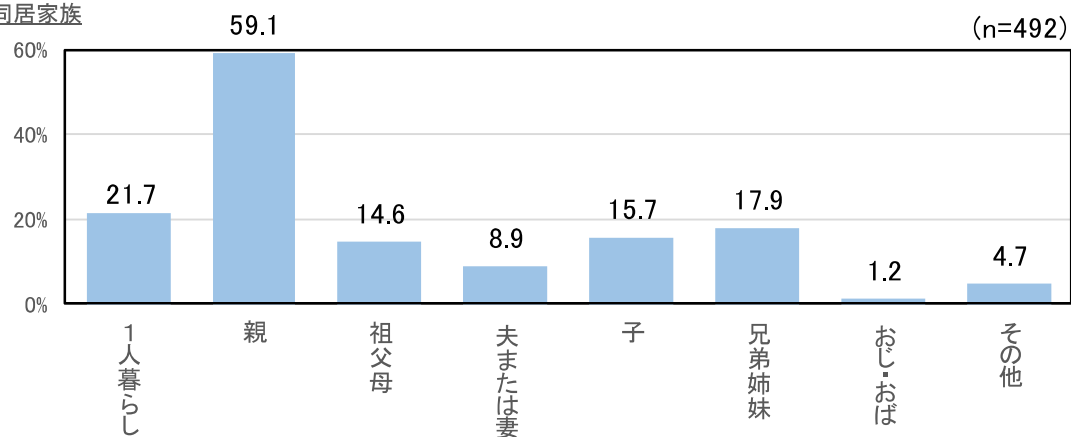
Q2.年齢



(2) 同居家族

「親と同居」が 59.1%でほぼ 6 割に達する。「1 人暮らし」は 21.7%である。

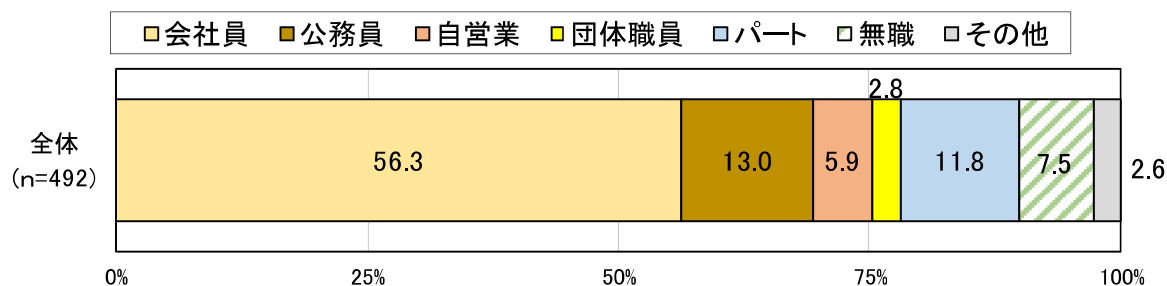
Q3.同居家族



(3) 職業

「会社員」が 56.3%と 6 割弱に達する。「公務員」が 13.0%で続く。

Q4.職業



2. 婚姻状況と結婚願望

(1) 婚姻状況

全体では「独身(未婚)」が 81.1%と 8 割を超える。「既婚」10.8%、「独身(離死別)」8.1%と続く。

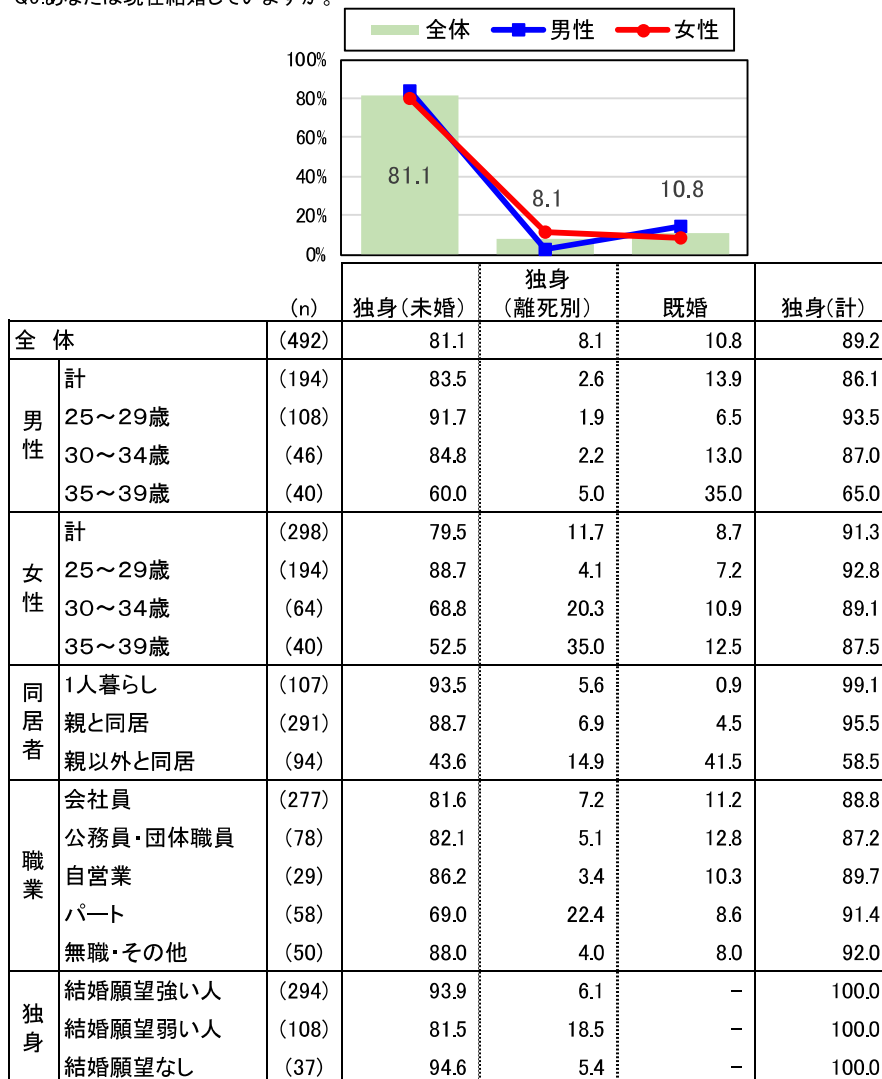
男女とも年齢の若い方で「独身(未婚)」が高く、男性 25～29 歳では 91.7%、女性 25～29 歳では 88.7%と 9 割前後に達する。女性 35～39 歳では「独身(離死別)」が 35.0%と他の性・年代層より高い。

同居者では、1 人暮らしで「独身(未婚)」は 93.5%だが、親以外と同居では「独身(未婚)」は 43.6%にとどまる。

職業では、自営業で「独身(未婚)」86.2%、無職・その他では 88.0%と他の職業に比べてやや高い。パートでは「独身(未婚)」は 69.0%と他の職業より低く、「独身(離死別)」が 22.4%と高くなる。

結婚願望弱い人(Q8 で「いい相手がいればしたいが、いなければなくてもいい」と回答した人)では「独身(離死別)」が 18.5%と、結婚願望強い人、結婚願望なしの人に比べて高い。

Q5.あなたは現在結婚していますか。



(2) 交際相手の有無

独身者に交際相手の有無を質問した結果では、「いない」が 74.7%とほぼ 7 割半ばに達する。

男女とも年齢が高い方が「いない」が高く、男性 35～39 歳では 92.3%と 9 割を超える。

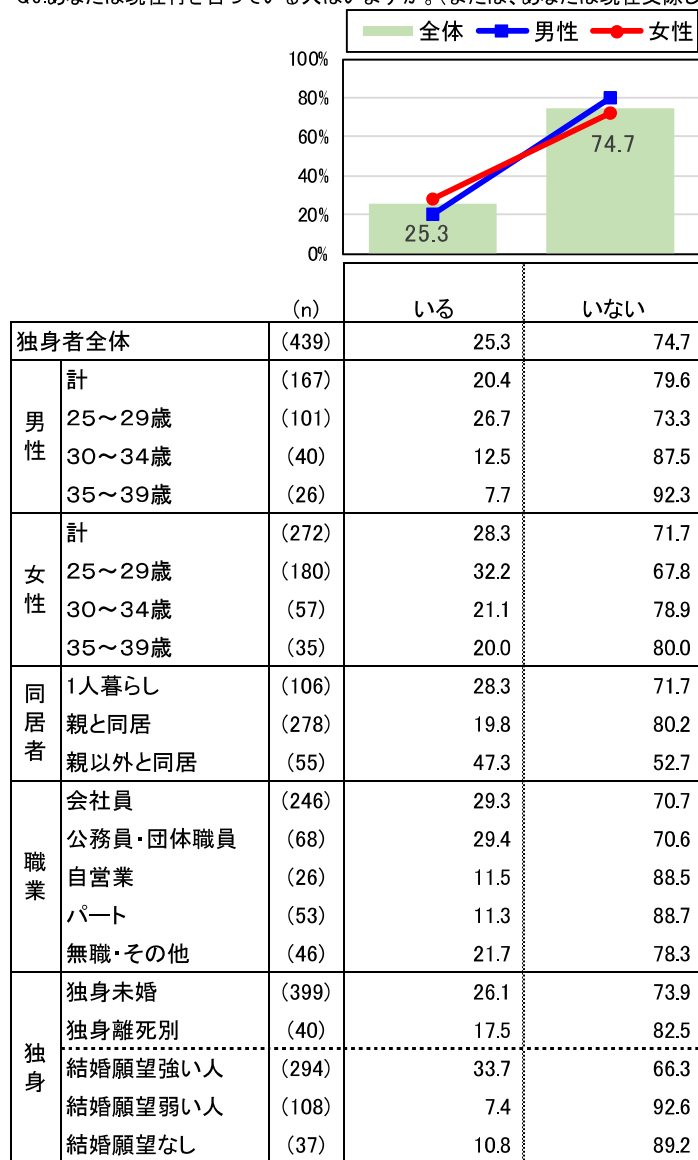
同居者では、親以外と同居で「いる」が 47.3%と 1 人暮らし 28.3%、親と同居 19.8%に比べて高い。

職業では、自営業、パートで「いない」割合が他より高くなっている。

独身未婚者より独身離死別経験者の方が「いない」割合は高い。

結婚願望強い人の方が「いる」割合が、弱い人、結婚願望なしの人より 20%以上高い。

Q6.あなたは現在付き合っている人はいますか。(または、あなたは現在交際している人はいますか)



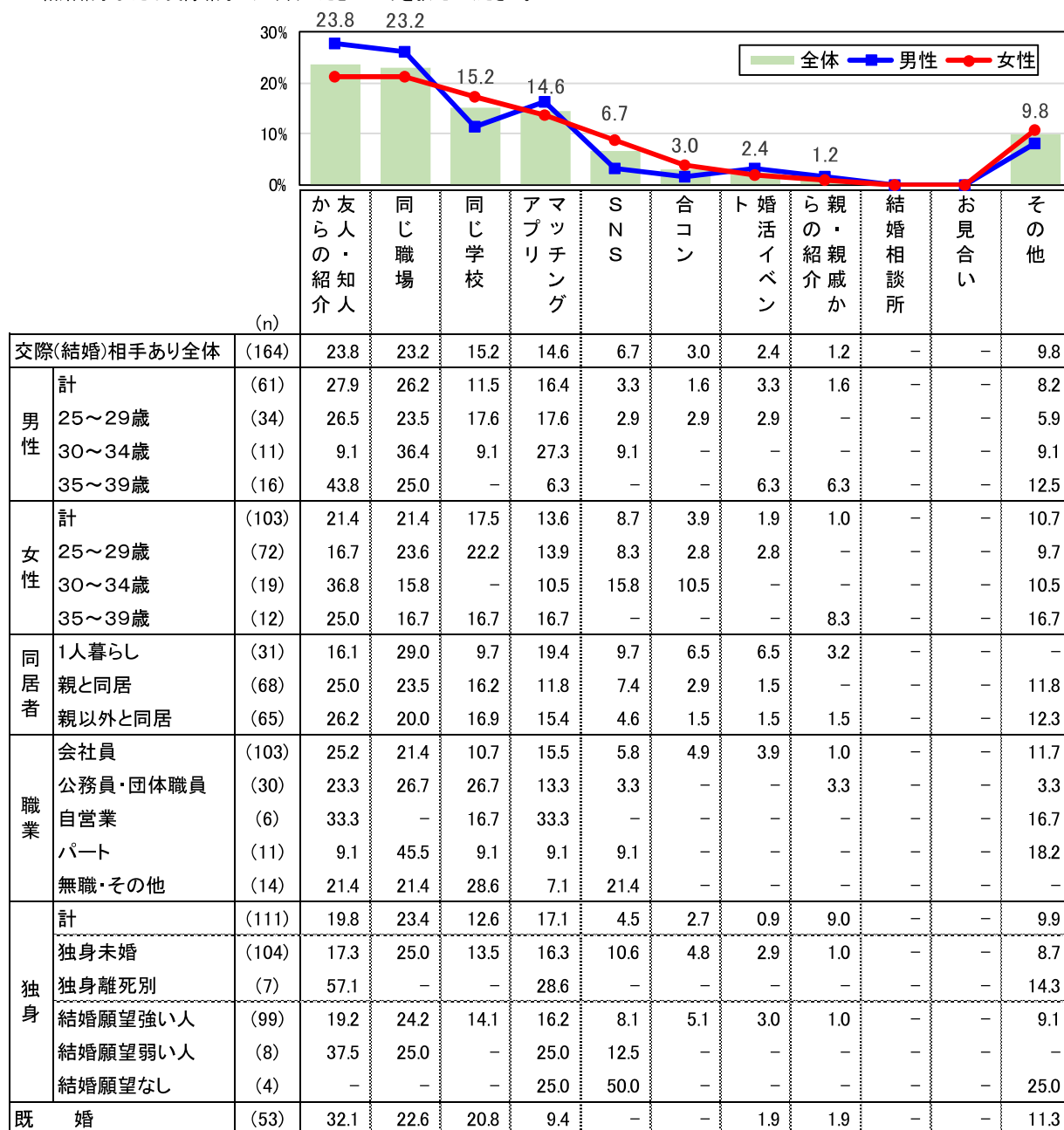
(3) 交際(結婚)相手と知り合ったきっかけ

交際(結婚)相手と知り合ったきっかけを質問した結果では、「友人・知人からの紹介」23.8%と「同じ職場」23.2%が2割強で並ぶ。「同じ学校」15.2%、「マッチングアプリ」14.6%と続く。

同居者では、1人暮らしで「友人・知人からの紹介」16.1%、「同じ学校」9.7%が低めで、「同じ職場」29.0%、「マッチングアプリ」19.4%がやや高い。

独身(計)では「マッチングアプリ」17.1%が既婚者の9.4%より高い。既婚者では「友人・知人からの紹介」32.1%が、独身(計)の19.8%に比べて高い。

Q7.結婚相手または交際相手と知り合ったきっかけを教えてください。



※「その他」除く全体の高い順

(4) 結婚願望

独身者全体では、「今すぐではないが5年以内ぐらいにしたい」が28.2%で最も高く、「いい相手が いればしたいが、いなければなくていい」24.6%、「なるべく早くしたい」21.4%、「いつかはしたい」 17.3%と続き、「願望あり(計)」が91.6%と9割を超える。

「いい相手が いればしたいが、いなければなくていい」を「弱い」願望とすると、「なるべく早くした い」「今すぐではないが5年以内ぐらいにしたい」「いつかはしたい」は「強い(計)」願望と考えられ、 67.0%と独身者の7割弱に達する。

男性では「今すぐではないが5年以内ぐらいにしたい」「いつかはしたい」が女性より高めで、「強い (計)」が76.6%と、女性の61.0%より高い。男女とも年齢の若い方が「今すぐではないが5年以内ぐら いにしたい」が高い。女性30歳以上になると「いい相手が いればしたいが、いなければなくていい」 が4割を超え、結婚願望は弱くなる。

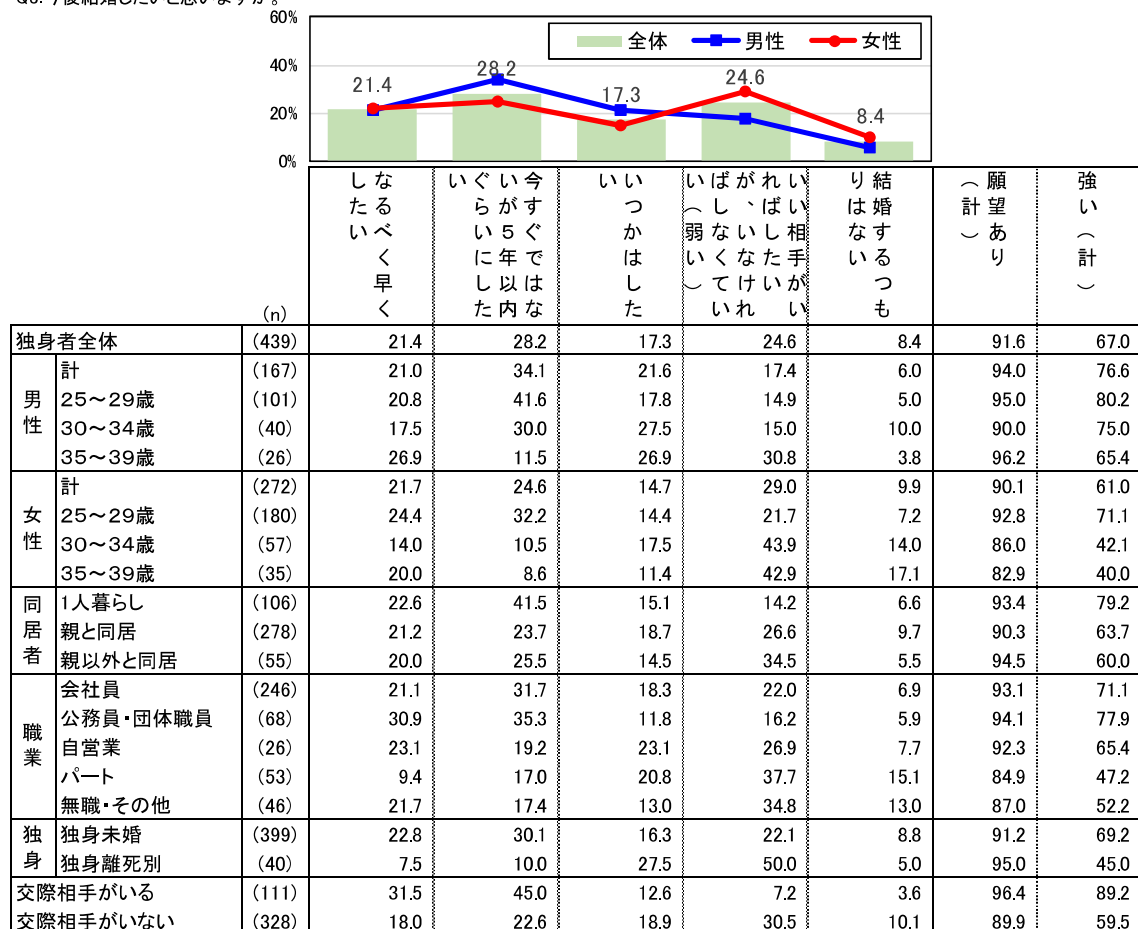
同居者では、1人暮らしの「強い(計)」は79.2%で、親と同居63.7%、親以外と同居60.0%より、高 い。

職業では、公務員・団体職員の「強い(計)」は77.9%、会社員は71.1%で、「パート」47.2%、「無職・ その他」52.2%より高い。

独身離死別経験者は、「いい相手が いればしたいが、いなければなくていい」がちょうど50.0%に 達する。

交際相手がいる人は「なるべく早くしたい」と「今すぐではないが5年以内ぐらいにしたい」の合計で 76.5%に達し、「強い(計)」では89.2%と、いない人の59.5%より高い。

Q8.今後結婚したいと思いますか。



(5) 結婚をしていない理由

独身者全体では「適当な相手と出会っていないから」が51.3%と5割を超える。「1人で自由に過ごしたいから」33.9%、「結婚資金や結婚後の生活資金がないから」31.9%、「必要性を感じていないから」28.2%が3割前後で続く。

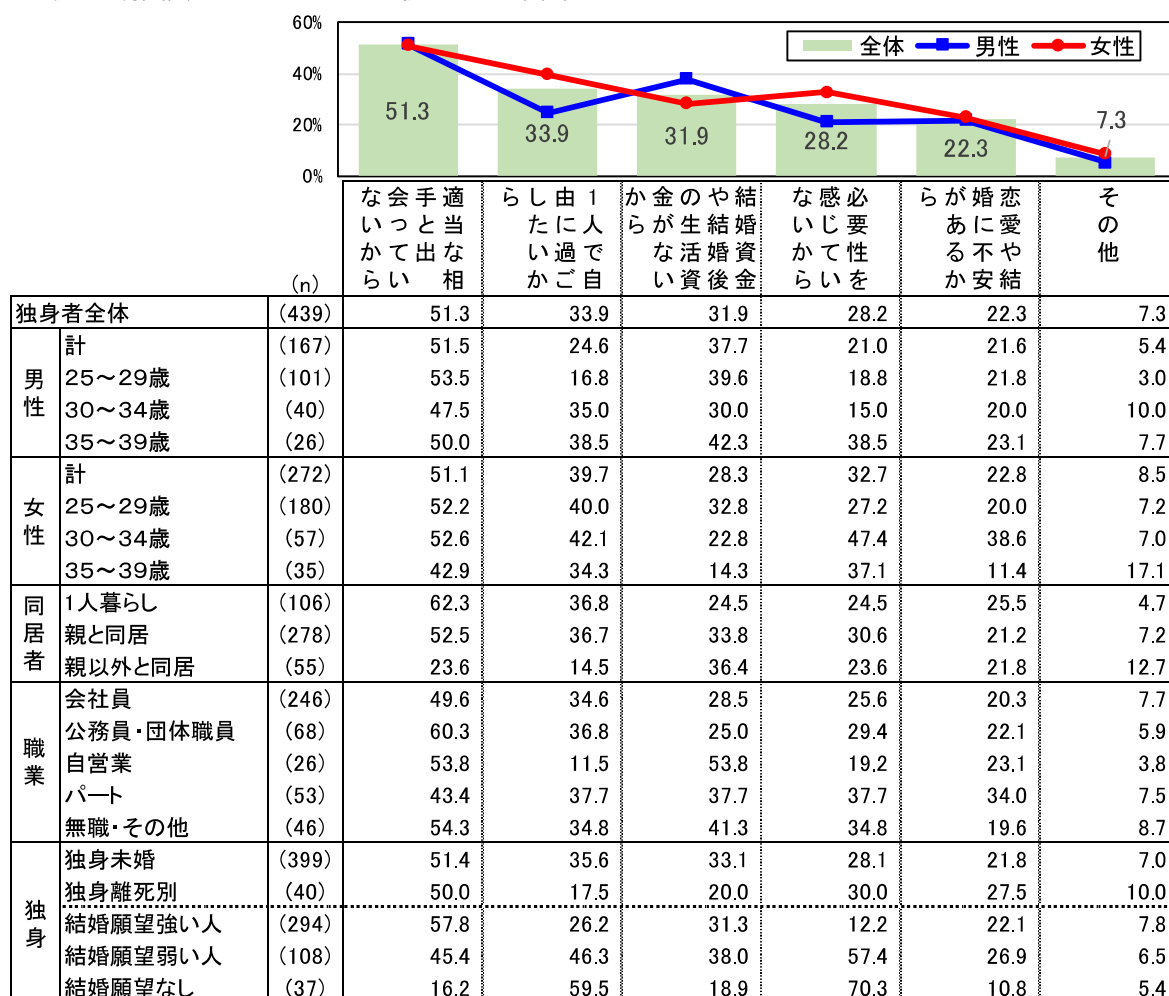
男性では「結婚資金や結婚後の生活資金がないから」が37.7%と女性の28.3%より高い。逆に女性では「1人で自由に過ごしたいから」が39.7%、「必要性を感じていないから」が32.7%で、男性よりそれぞれ10%以上高い。女性30～34歳では「必要性を感じていないから」が47.4%と高く、「恋愛や結婚に不安があるから」も38.6%と他に比べて高い。女性の中では「結婚資金や結婚後の生活資金がないから」は年齢が高くなると低くなる。

同居者では、親以外と同居者は「適当な相手と出会っていないから」23.6%と「1人で自由に過ごしたいから」14.5%が低い、離死別経験者で子供との同居もしくは交際相手の同居者が多いためと思われる。

職業では、自営業で「結婚資金や結婚後の生活資金がないから」が53.8%と5割を超える。「結婚資金や結婚後の生活資金がないから」はパートで37.7%、無職・その他で41.3%と高めである。

結婚願望強い人は「適当な相手と出会っていないから」が57.8%と6割弱に達し、結婚願望なしの人では「必要性を感じていないから」70.3%、「1人で自由に過ごしたいから」59.5%が高い。結婚願望弱い人でも「必要性を感じていないから」は57.4%と6割弱に達する。

Q9.あなたが現在結婚していない理由について教えてください。(回答はいくつでも)



※「その他」除く全体の高い順

3. 唐津市婚活事業

(1) 唐津市婚活事業の認知

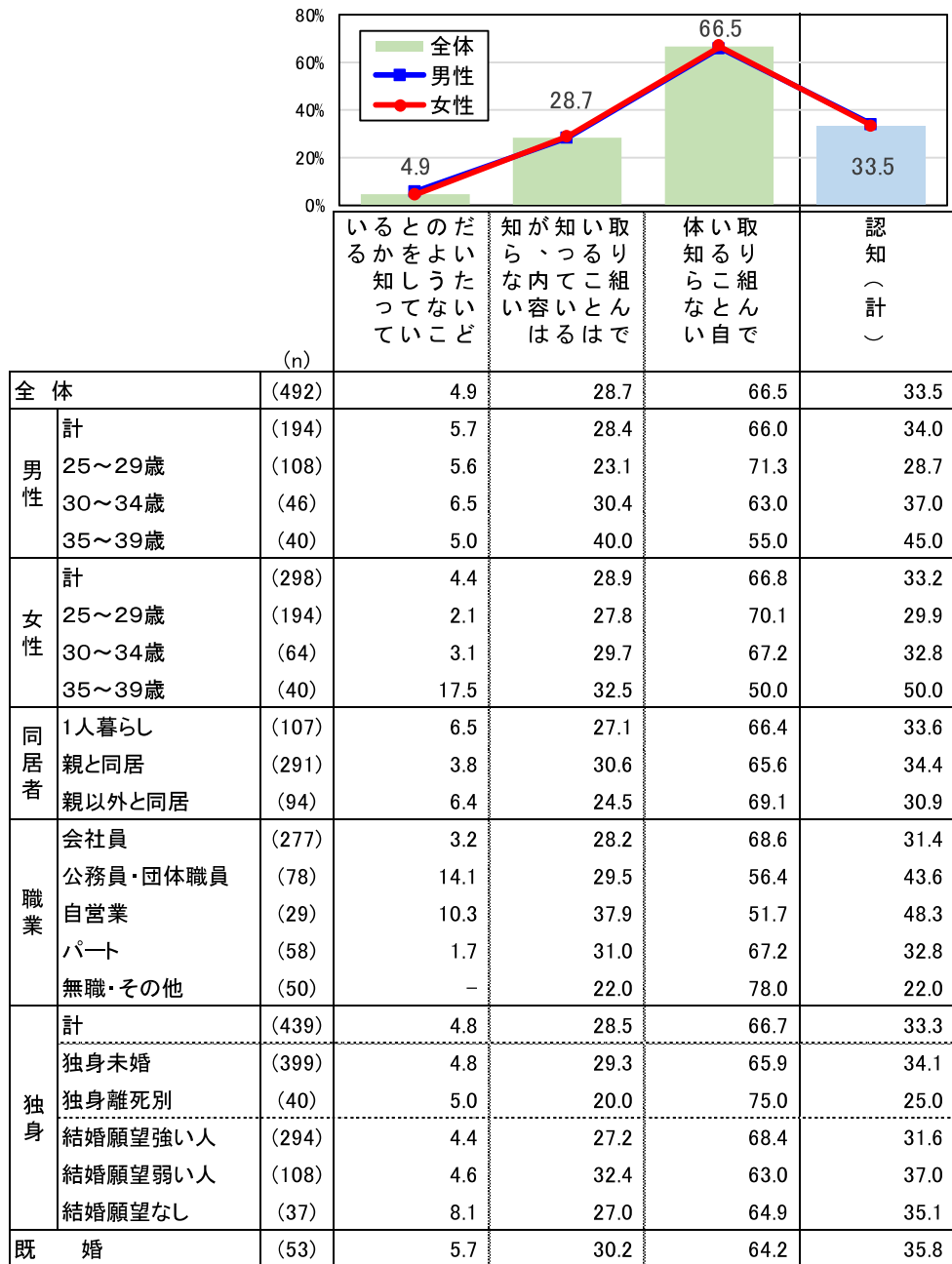
全体では「取り組んでいること自体知らない」が66.5%と、7割弱の人が取り組んでいることを知らない結果となった。「取り組んでいることは知っているが、内容は知らない」が28.7%と「だいたいどのようなことをしているか知っている」4.9%を合計した「認知(計)」は33.5%にとどまる。

男女とも年齢の高い方が「認知(計)」も高く、女性35～39歳では50.0%とちょうど半数に達する。

職業では、自営業で「認知(計)」が48.3%と5割弱に達する。

独身未婚の「認知(計)」は34.1%で独身離死別の25.0%より高い。

Q10.唐津市が婚活イベントなどの婚活事業に取り組んでいることを知っていますか。



(2) 唐津市婚活事業の評価

全体では「積極的に取り組んだ方がいいと思う」34.8%、「どちらかというに取り組んだ方がいいと思う」26.4%で、合計した「取り組んだ方がいいと思う(計)」は61.2%と6割を超える。

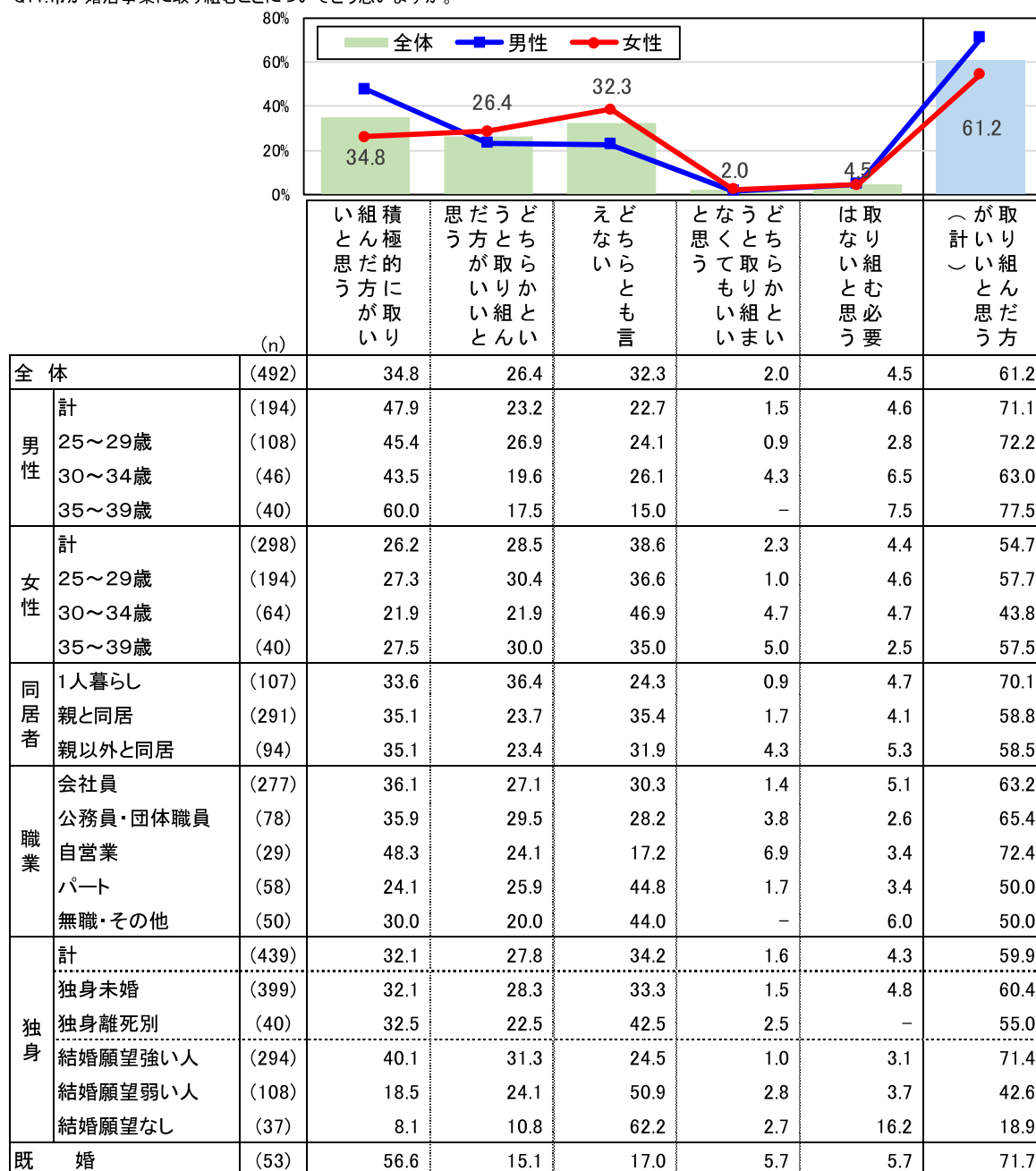
男性では「取り組んだ方がいいと思う(計)」は71.1%で、女性の54.7%よりも高い。

1人暮らしでも「取り組んだ方がいいと思う(計)」は70.1%で、7割を超える。

職業では、自営業でも「取り組んだ方がいいと思う(計)」は72.4%と7割を超える。

独身者では「取り組んだ方がいいと思う(計)」は59.9%だが、既婚者では71.7%で既婚者の方が高い。独身の中の結婚願望強い人では「取り組んだ方がいいと思う(計)」は71.4%と7割を超える。一方、結婚願望弱い人では42.6%、結婚願望なしの人では18.9%と低い。

Q11.市が婚活事業に取り組むことについてどう思いますか。



(3) 市のイベント情報発信に適しているメディア

全体では「唐津市のLINE」が53.3%と唯一、5割を超える。「市報」42.1%、「お店などにポスターを掲示」39.6%が4割前後で続く。「テレビ」36.8%、「唐津市のHP」32.3%までが、3割を超える。

男性35～39歳では「唐津市のHP」と「唐津市のLINE」が52.5%で並んで最も高い。女性30～34歳では「唐津市のLINE」が68.8%と、他の性・年代各層より高い。

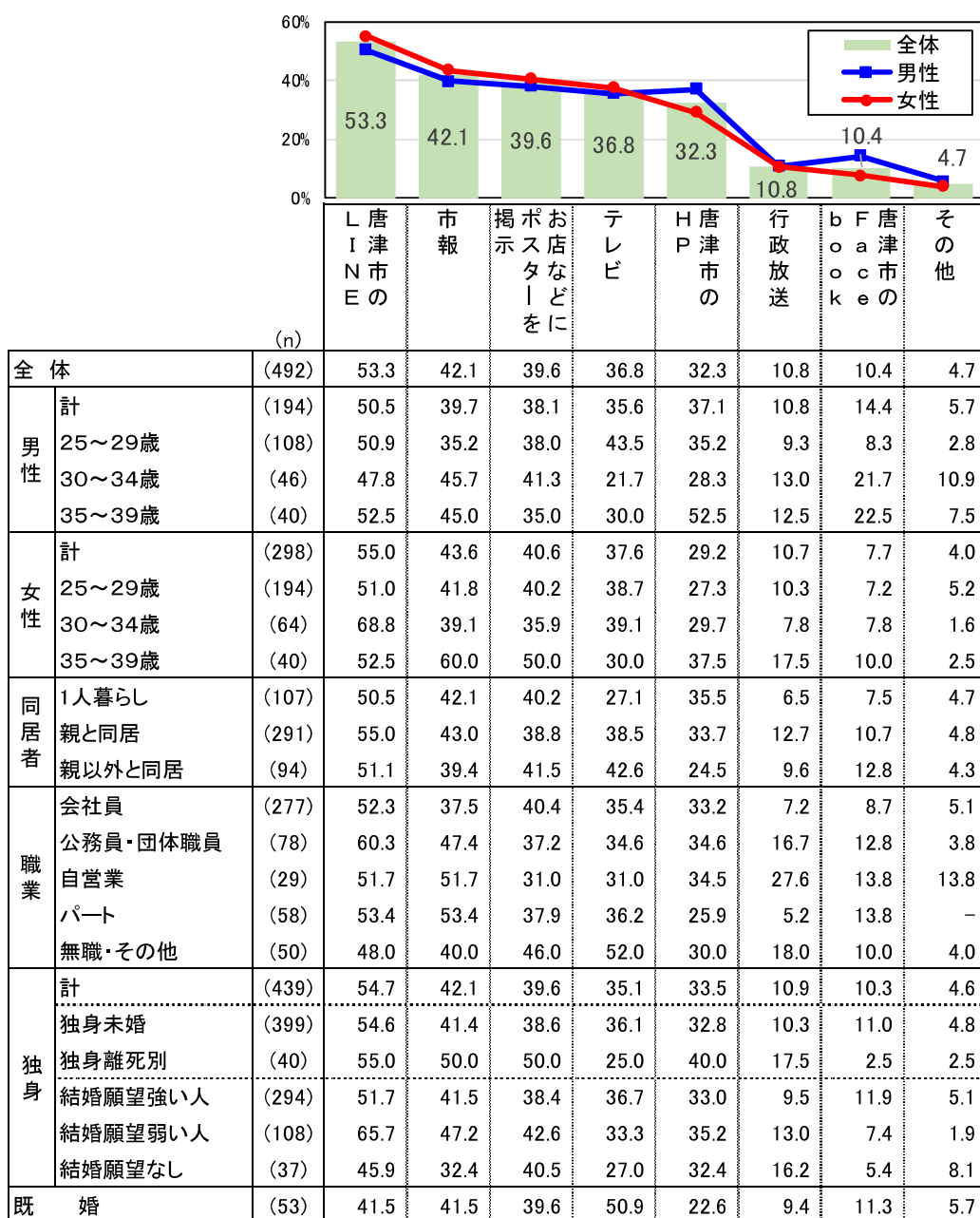
同居者では、1人暮らしで「テレビ」が27.1%と、親と同居38.5%、親以外と同居42.6%より低い。

職業では、公務員・団体職員で「唐津市のLINE」が60.3%と、他の職業より高い。

結婚願望弱い人でも「唐津市のLINE」は65.7%と6割を超える。

既婚者では「テレビ」が50.9%で、最も高い。

Q12.婚活情報に限らず、市からのイベント情報発信として適しているものはどれだと思いますか。(回答はいくつでも)



※「その他」除く全体の高い順

(4) さが出会いサポートセンターの認知

全体では「知っていて利用したことがある」2.2%、「知っているが利用したことはない」8.7%、「聞いたことはあるがよく知らない(利用したことはない)」11.6%で、合計した「認知(計)」は22.6%である。

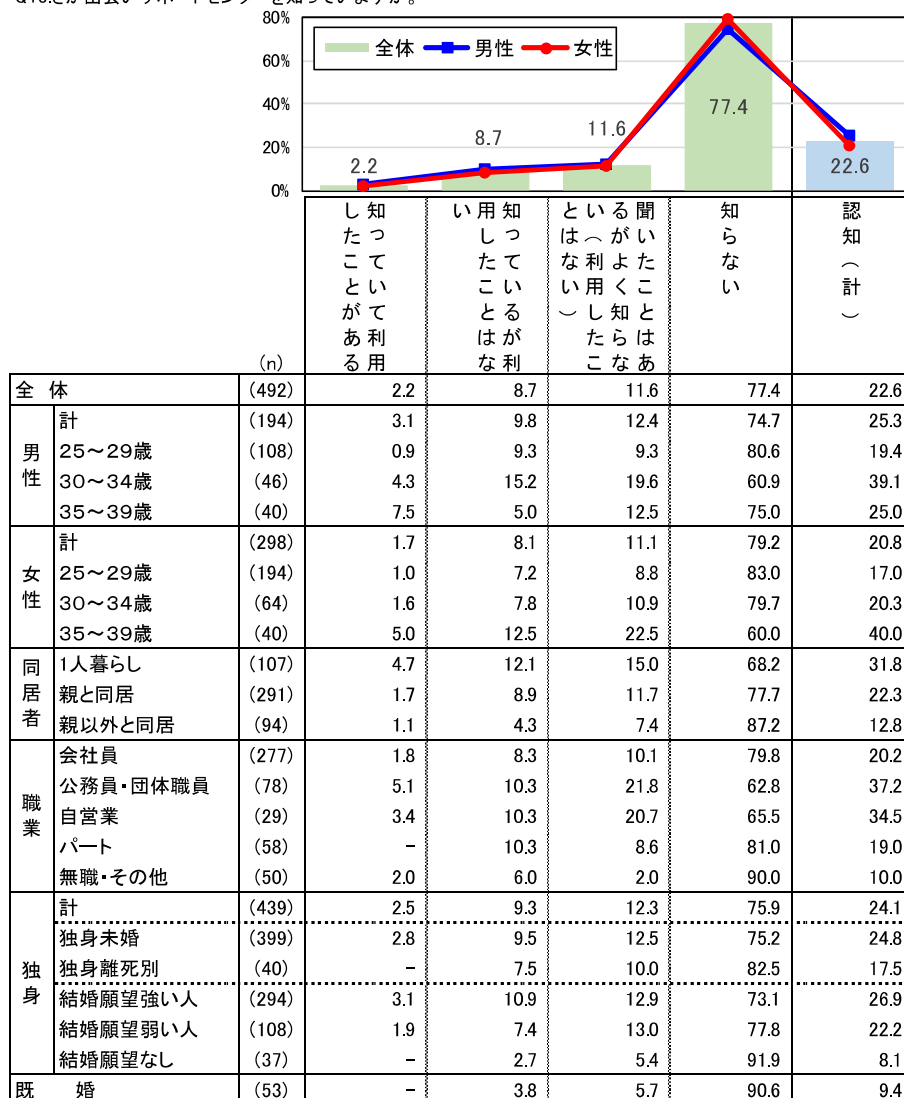
男性、女性とも「知っていて利用したことがある」は年齢が高いほど高くなる傾向はあるが、最も高い男性35～39歳でも7.5%と1割に届かない。男性30～34歳の「認知(計)」は39.1%、女性35～39歳では40.0%と他の性・年代より高い。

同居者では、1人暮らしで「認知(計)」が31.8%で、親と同居22.3%、親以外と同居12.8%より高い。

職業では、公務員・団体職員の「認知(計)」は37.2%、自営業の「認知(計)」は34.5%で、他職業より高い。

独身者の「認知(計)」は24.1%で既婚者の9.4%より高い。結婚願望強い人では「認知(計)」は26.9%、弱い人では22.2%、願望なしでは8.1%と結婚願望の強い人ほど認知率は高くなる。

Q13.さが出会いサポートセンターを知っていますか。



(5) さが出会いサポートセンターの利用意向と不利用意向理由

独身者全体では「利用したい」5.7%、「やや利用したい」12.8%で、合計した「利用したい(計)」は18.5%である。

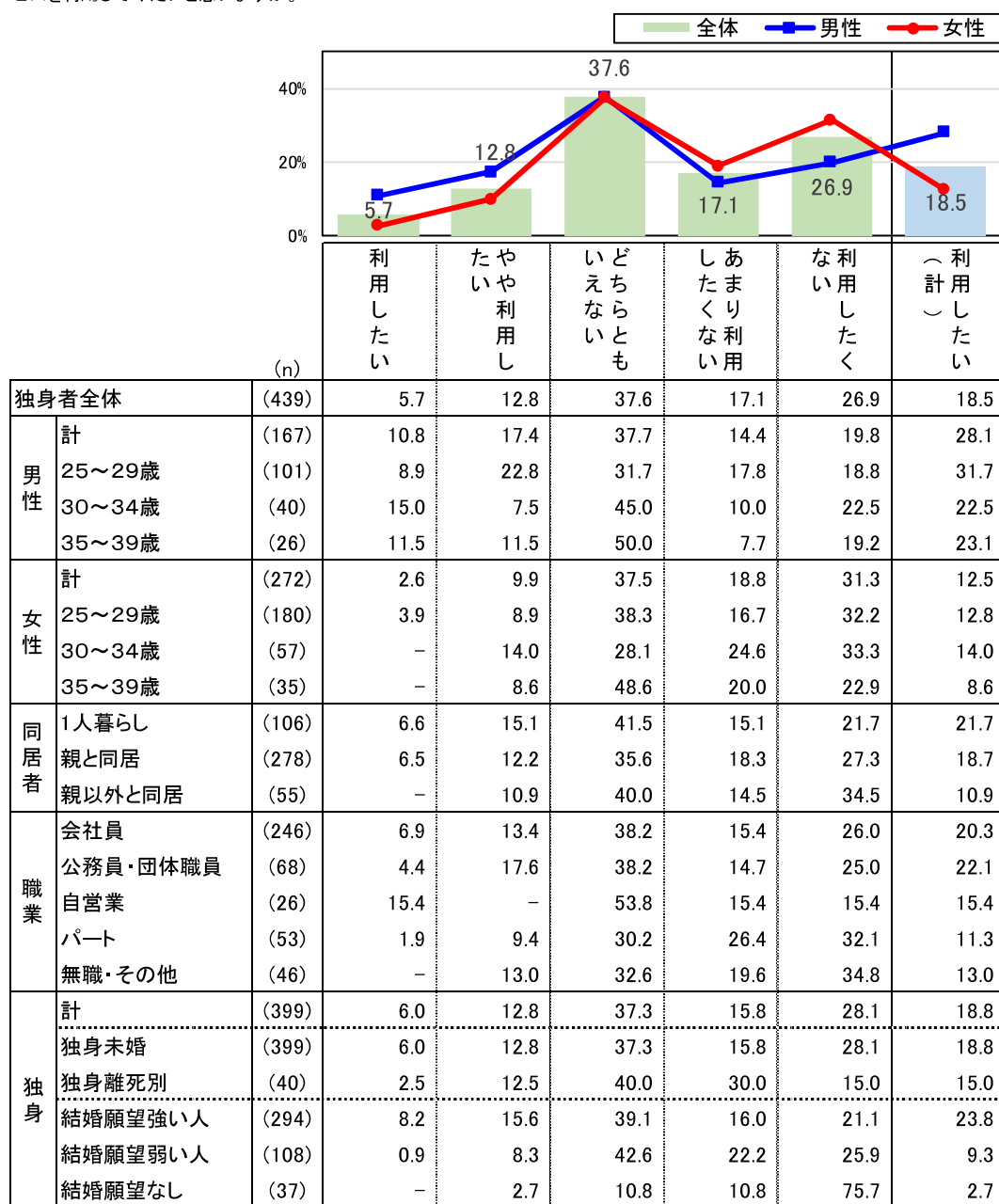
男性の「利用したい(計)」は28.1%で、女性の12.5%よりも高い。

同居者では、親以外と同居で「利用したい(計)」は10.9%と低い。

職業では、会社員で「利用したい(計)」20.3%、公務員・団体職員では22.1%と2割に達し、他職業よりは高い。

結婚願望強い人でも「利用したい(計)」は23.8%と2割を超えている。一方、結婚願望なしの人では「利用したい(計)」は2.7%と低い。

Q14.さが出会いサポートセンターは佐賀県が運営する「結婚を希望する男女の1:1のお見合いを提供するサービス」です(登録者はR5年5月末で746人です)。利用料は年間5,000円で、登録されている異性のプロフィールを見て、会ってみたい異性を選ぶことができます。このサービスを利用してみたいと思いますか。



さが出会いサポートセンターを「どちらともいえない」「利用したくない(計)」と回答した人に、利用していない、利用しないと思う理由を質問した結果では、「よくわからないから」が43.0%で最も高い。「このようなシステムを使うことに抵抗があるから」28.2%、「理想とする人と出会えなさそうだから」23.5%、「既に交際相手がいるから」17.9%と続く。

女性では「よくわからないから」が46.2%と男性の36.7%より高い。

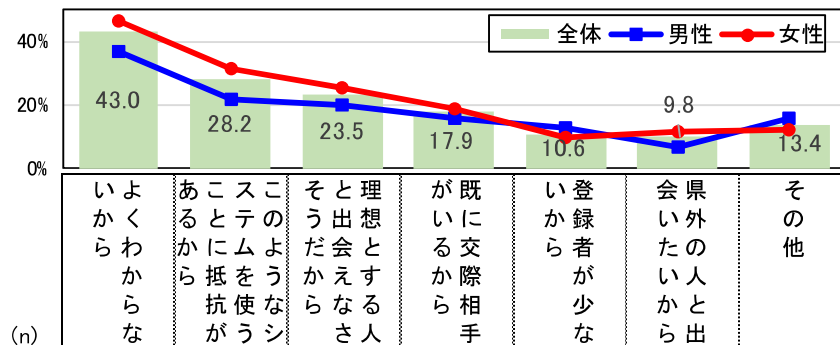
同居者では、親と同居では「このようなシステムを使うことに抵抗があるから」34.1%、親以外と同居では「既に交際相手がいるから」26.5%が高めである。

職業では、公務員・団体職員では「このようなシステムを使うことに抵抗があるから」が41.5%と4割を超える。

結婚願望強い人では「既に交際相手がいるから」が26.8%と弱い人2.0%、願望なしの人5.6%より高い。

「その他」13.4%(48人)の主な具体的な回答は、「値段が高い/お金がかかる」が17人、「(結婚に)興味がない/必要ない」が15人である。

Q15.さが出会いサポートセンターを利用したことがない、または利用しないと思う理由は何ですか。(回答はいくつでも)



		(n)	いよくわからから	あこスこ	そと理	が既	い登	会	県	そ
不利用意向者全体		(358)	43.0	28.2	23.5	17.9	10.6	9.8	13.4	
男性	計	(120)	36.7	21.7	20.0	15.8	12.5	6.7	15.8	
	25～29歳	(69)	39.1	18.8	21.7	18.8	18.8	5.8	10.1	
	30～34歳	(31)	35.5	29.0	12.9	12.9	3.2	6.5	19.4	
	35～39歳	(20)	30.0	20.0	25.0	10.0	5.0	10.0	30.0	
女性	計	(238)	46.2	31.5	25.2	18.9	9.7	11.3	12.2	
	25～29歳	(157)	49.7	28.0	22.3	22.3	10.8	11.5	10.8	
	30～34歳	(49)	36.7	42.9	34.7	14.3	6.1	12.2	12.2	
	35～39歳	(32)	43.8	31.3	25.0	9.4	9.4	9.4	18.8	
同居者	1人暮らし	(83)	43.4	24.1	22.9	20.5	14.5	9.6	15.7	
	親と同居	(226)	44.2	34.1	23.5	15.0	9.3	10.2	13.3	
	親以外と同居	(49)	36.7	8.2	24.5	26.5	10.2	8.2	10.2	
職業	会社員	(196)	41.3	25.0	20.9	21.4	10.2	9.7	12.2	
	公務員・団体職員	(53)	37.7	41.5	24.5	18.9	20.8	7.5	11.3	
	自営業	(22)	50.0	18.2	36.4	13.6	13.6	4.5	18.2	
	パート	(47)	46.8	27.7	25.5	8.5	6.4	12.8	14.9	
	無職・その他	(40)	50.0	32.5	25.0	12.5	2.5	12.5	17.5	
独身	独身未婚	(324)	41.7	29.6	22.8	19.4	10.8	10.5	14.5	
	独身離死別	(34)	55.9	14.7	29.4	2.9	8.8	2.9	2.9	
	結婚願望強い人	(224)	43.8	27.7	25.4	26.8	13.4	10.7	8.9	
	結婚願望弱い人	(98)	49.0	29.6	23.5	2.0	8.2	8.2	14.3	
	結婚願望なし	(36)	22.2	27.8	11.1	5.6	-	8.3	38.9	

※「その他」除く全体の高い順

4. 婚活状況

(1) 結婚相手(交際相手)を探すための行動

全体では「現在している」12.0%、「以前していたことがある(今はしていない)」38.2%で、合計した「経験あり(計)」は50.2%と5割に達する。

男性では「経験あり(計)」が54.1%で、女性の47.7%よりやや高い。特に男性30～34歳では「経験あり(計)」が63.0%と6割を超える。女性では年齢が高いほど「以前していたことがある(今はしていない)」が高くなるため、「経験あり(計)」も高くなり、35～39歳では65.0%に達する。

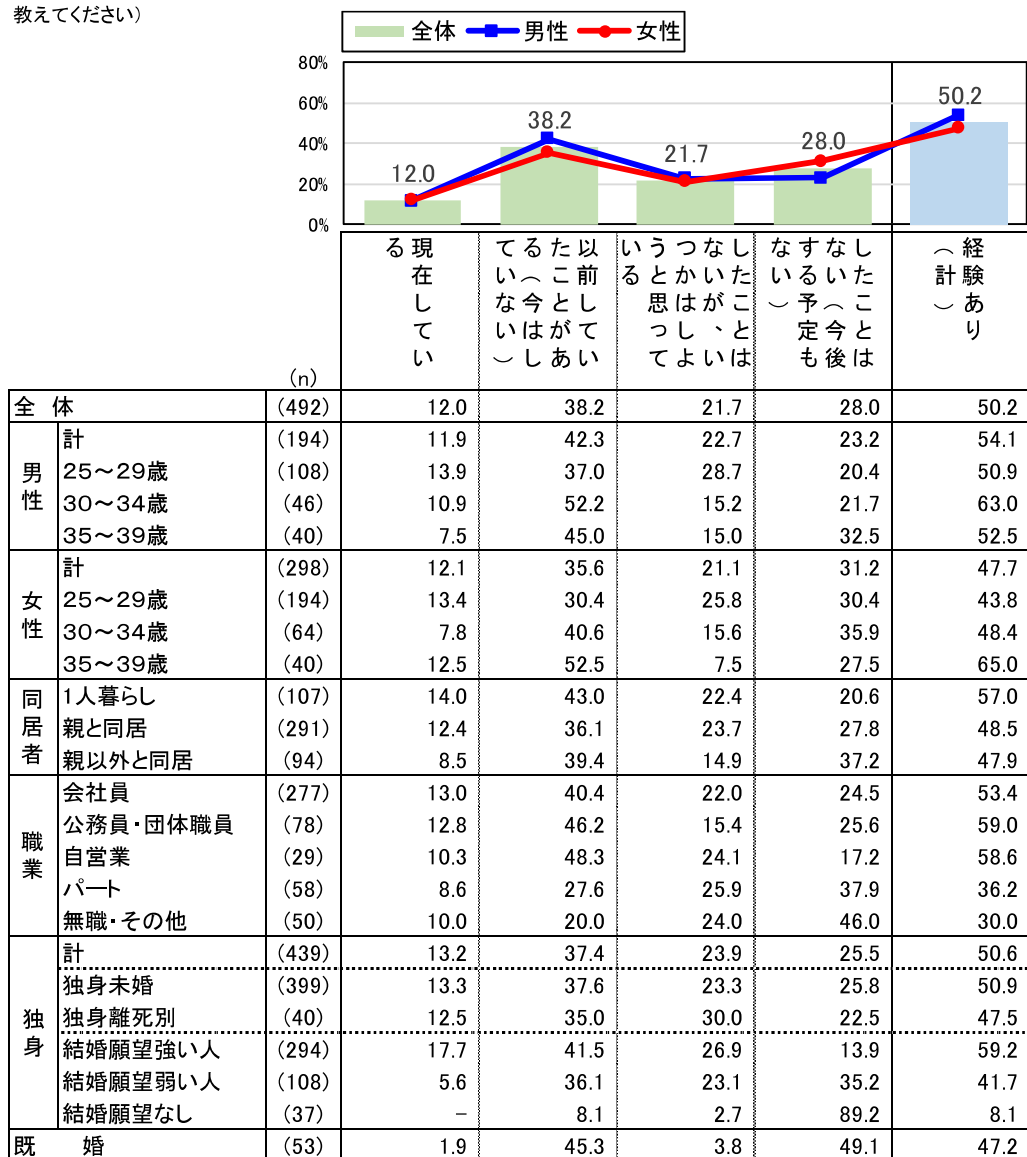
同居者では、1人暮らしの方が「以前していたことがある(今はしていない)」43.0%が高いため、「経験あり(計)」57.0%も、親と同居48.5%、親以外と同居47.9%より高い。

職業では、パートで「以前していたことがある(今はしていない)」が27.6%、無職では20.0%で他職業より低い。

結婚願望強い人の「経験あり(計)」は59.2%で高い。結婚願望なしの人で「現在している」と回答した人はおらず、「以前していたことがある(今はしていない)」も8.1%と1割に届かない。

独身者(計)の「経験あり(計)」は50.6%で既婚者の47.2%と、同程度である。

Q16.結婚(交際)相手を探すために行動をしていますか。(既婚者・交際相手がいる方は、過去にしていたことがあるかどうか教えてください)

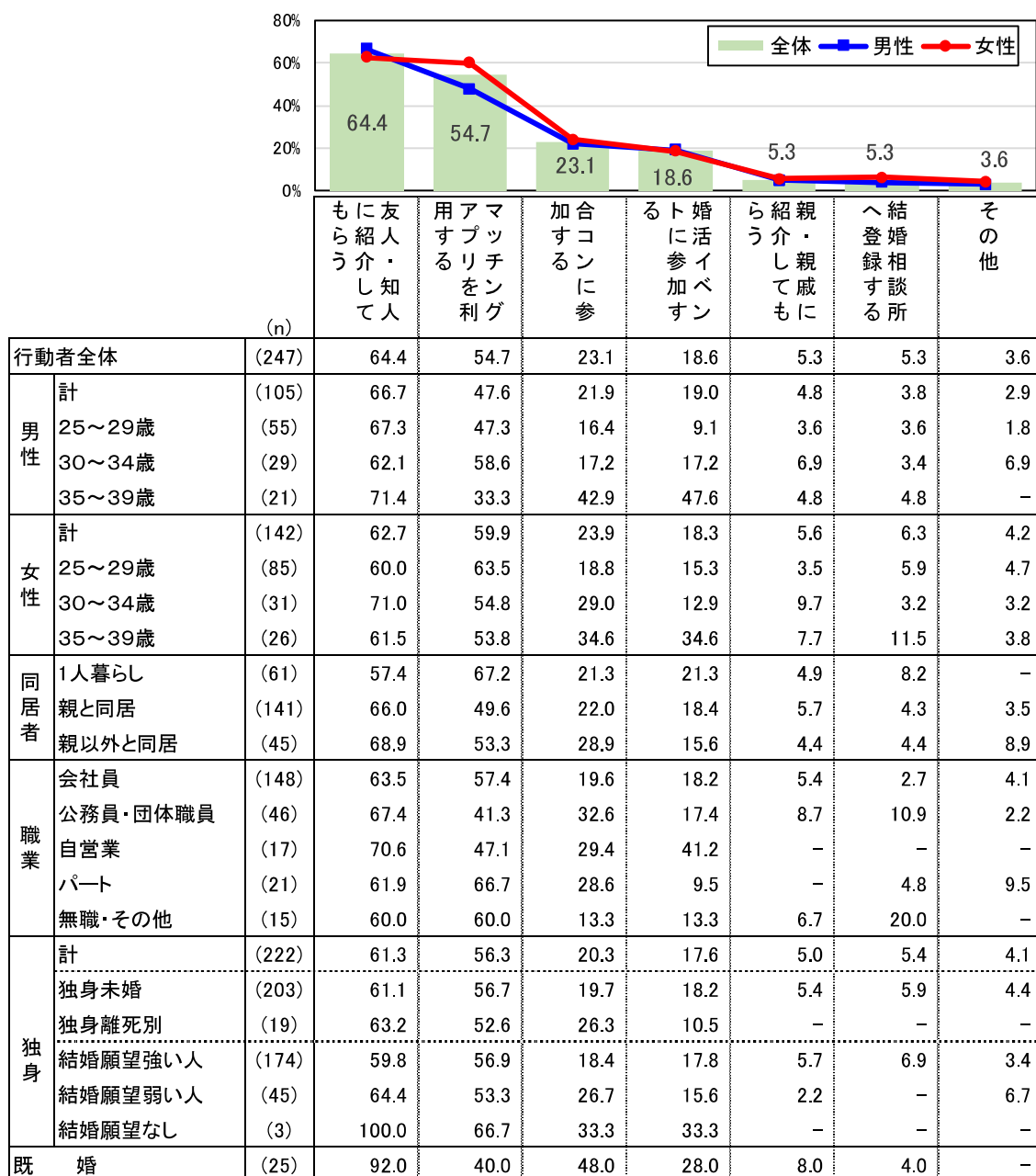


(2) 結婚相手(交際相手)を探すための具体的な行動

行動者全体では、「友人・知人に紹介してもらう」が64.4%で最も高く、次の「マッチングアプリを利用する」54.7%までが5割を超える。以下、「合コンに参加する」23.1%、「婚活イベントに参加する」18.6%と続く。

男性女性とも全体と同じ傾向であるが、女性の「マッチングアプリを利用する」は59.9%で、男性の47.6%より高い。特に女性25～29歳では63.5%と高い。

Q17.結婚(交際)相手を探すためにどのようなことをしていますか。またはしていたことがありますか。(回答はいくつでも)



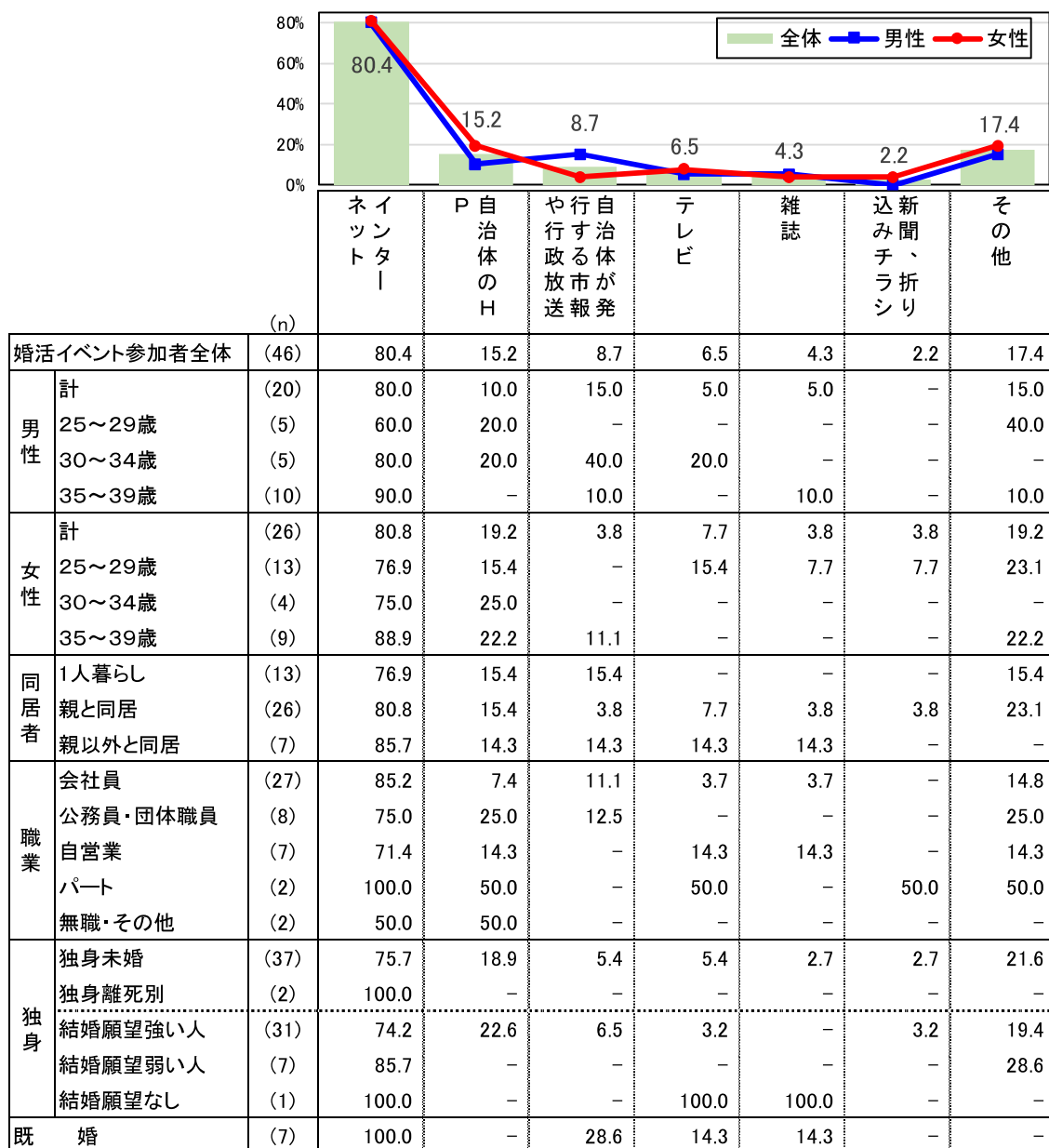
※「その他」除く全体の高い順

(3) 婚活イベント情報の収集方法

婚活イベント参加者全体では、「インターネット」が80.4%と圧倒的に高い。次は「自治体のHP」15.2%、「自治体が発行する市報や行政放送」8.7%と続く。この自治体関係2項目は「テレビ」6.5%、「雑誌」4.3%、「新聞、折り込みチラシ」2.2%のマスコミよりも高い。

「その他」17.4%(8件)の具体的な内容では「友人」「口コミ」など口コミ関係(7件)がほとんどである。

Q18.婚活イベントの情報はどのように収集していますか。またはしていましたか。(回答はいくつでも)



※「その他」除く全体の高い順

5. 唐津市の婚活イベントについて

(1) 唐津市主催の婚活イベント参加意向と不参加意向理由

独身者全体では唐津市主催の婚活イベントに参加したいと「思う」7.3%、「やや思う」15.0%で、合計した参加したいと「思う(計)」は22.3%である。

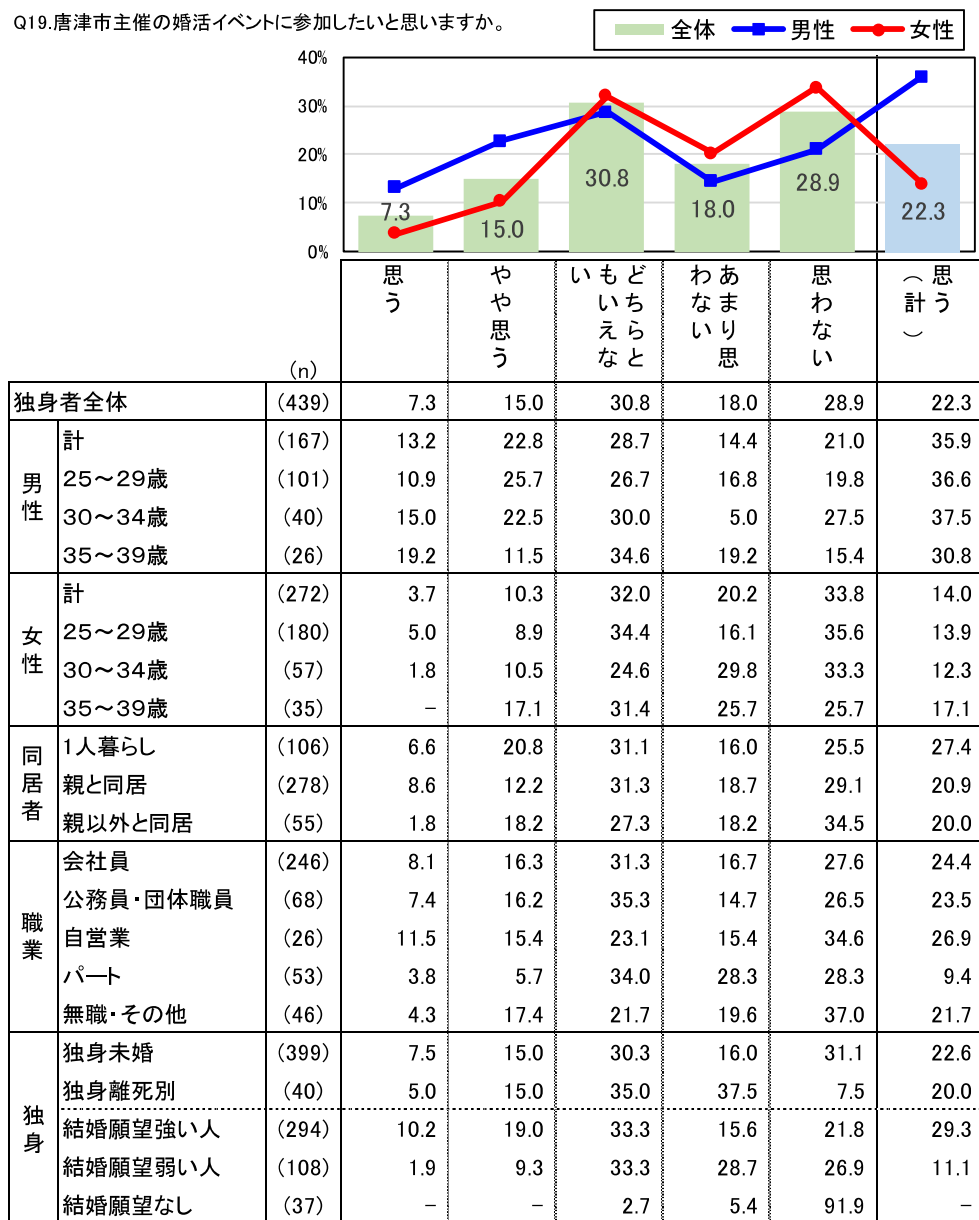
男性の参加したいと「思う(計)」は35.9%で、女性の14.0%よりも高い。

同居者では、1人暮らしの参加したいと「思う(計)」は27.4%で、親と同居20.9%、親以外と同居20.0%よりやや高い。

職業では、パートの参加したいと「思う(計)」は9.4%で、他職業より低い。

結婚願望強い人では参加したいと「思う(計)」が29.3%と結婚願望弱い人の11.1%より高い。結婚願望なしの人で参加したいと「思う(計)」と回答した人はいない。

Q19.唐津市主催の婚活イベントに参加したいと思いますか。



唐津市主催の婚活イベントに「どちらともいえない」「参加したいと思わない(計)」と回答した人に、参加したくない理由を質問した結果では、「知り合いに会いたくない」が53.1%と5割を超える。「市主催に関わらず、そもそも婚活イベントに参加したくない」21.1%、「参加者が集まらなさそう」15.8%、「内容が面白くなさそう」12.9%と続く。

女性では、「知り合いに会いたくない」は60.7%と男性の36.4%より高い。

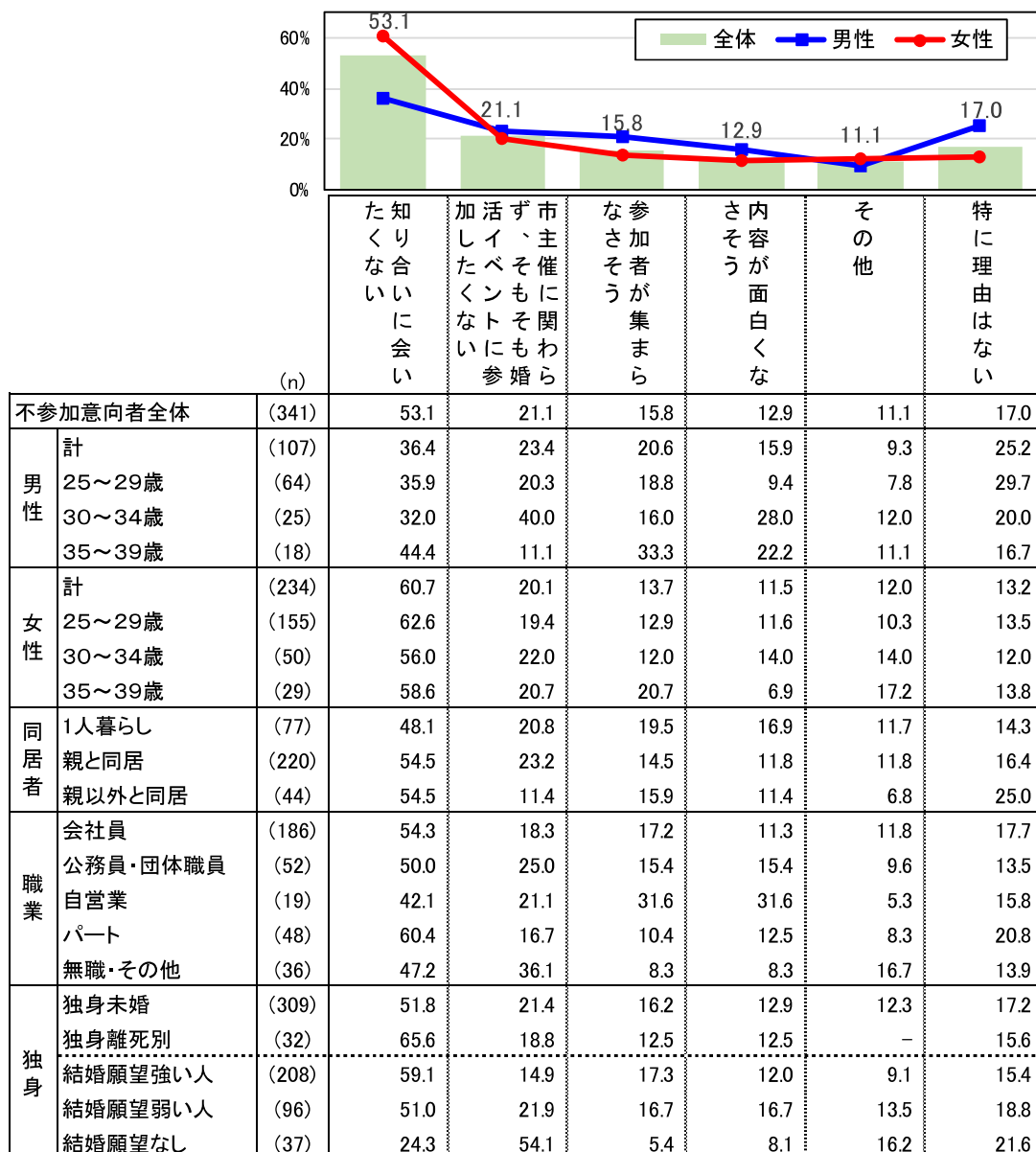
職業では、無職・その他で「市主催に関わらず、そもそも婚活イベントに参加したくない」が36.1%と他職業より高い。

独身離死別経験者では、「知り合いに会いたくない」が65.6%と高い。

結婚願望強い人でも「知り合いに会いたくない」は59.1%と高い。結婚願望なしの人では「市主催に関わらず、そもそも婚活イベントに参加したくない」が54.1%と高い。

「その他」11.1%(38人)の中の主な具体的な回答は「交際相手がいる」10人、「結婚に興味がない/必要ない」7人である。

Q20.唐津市主催の婚活イベントに参加したくない理由を教えてください。(回答はいくつでも)



※「その他」「特に理由はない」除く全体の高い順

(2) ライトなイベントへの参加意向

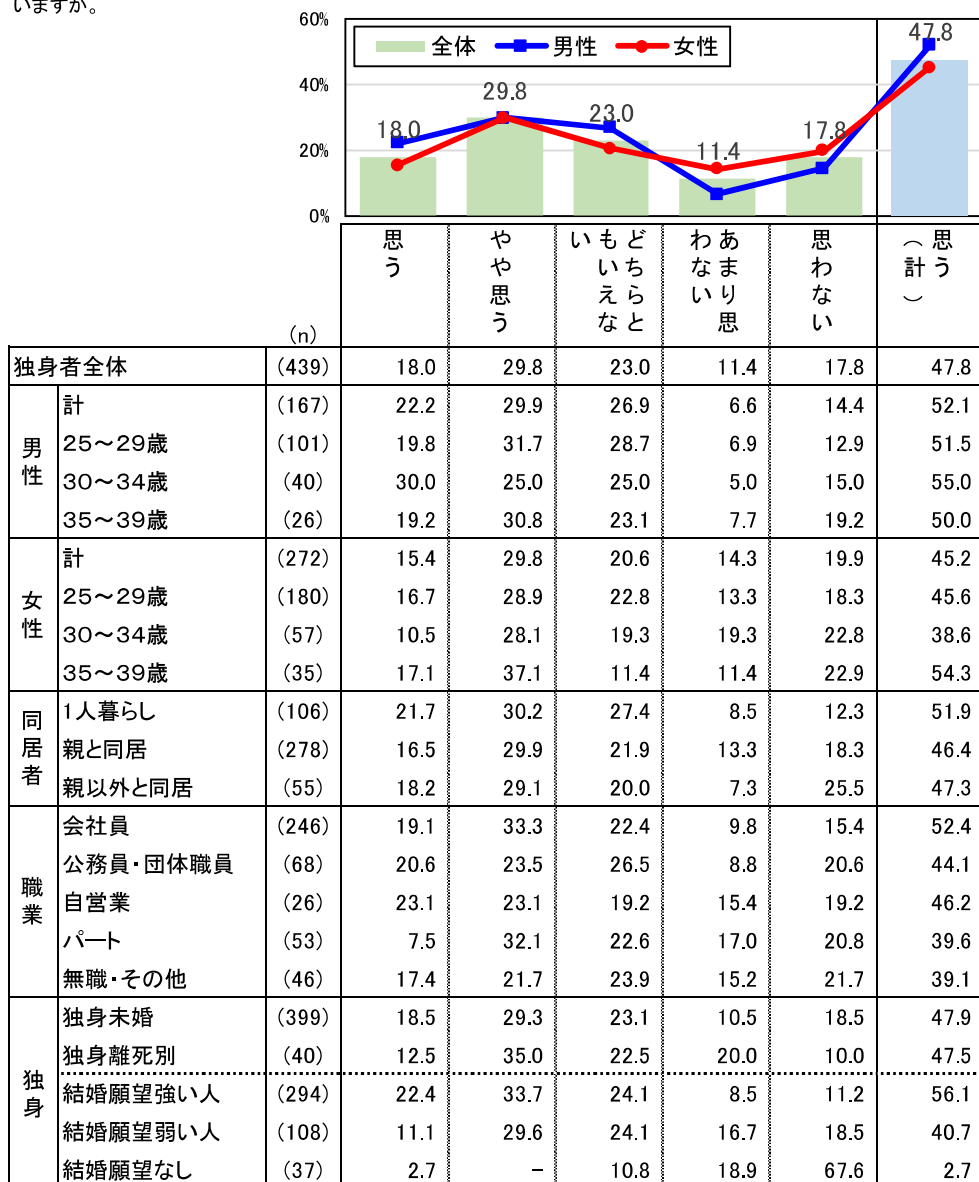
独身者全体ではライトなイベントに参加したいと「思う」18.0%、「やや思う」29.8%で、合計した「思う(計)」は47.8%と5割弱に達する。

男性の「思う(計)」は52.1%で、女性の45.2%よりやや高い。

職業では、会社員の「思う(計)」は52.4%で他職業よりやや高い。

結婚願望強い人では「思う(計)」が56.1%と6割弱に達する。結婚願望なしの人で「思う(計)」と回答した人は2.7%と非常に少ない。

Q21.「婚活イベント」ではなく、「恋活」「交流会」「独身者が参加できる趣味サークル」のようなライトなものであれば参加したいと思いますか。



(3) 参加したいイベント

独身者全体では「飲食ができるパーティ」37.8%が4割弱で最も高い。「独身者のみ参加できる趣味サークル」31.7%、「BBQ」29.2%が3割前後で続く。「スポーツで交流するイベント」24.6%、「色んな人と1対1で話せるイベント」23.9%、「ゲームで交流するイベント」22.1%までが2割を超える。「どのようなイベントでも参加したくない」というイベント完全参加拒絶者は18.5%と2割弱である。

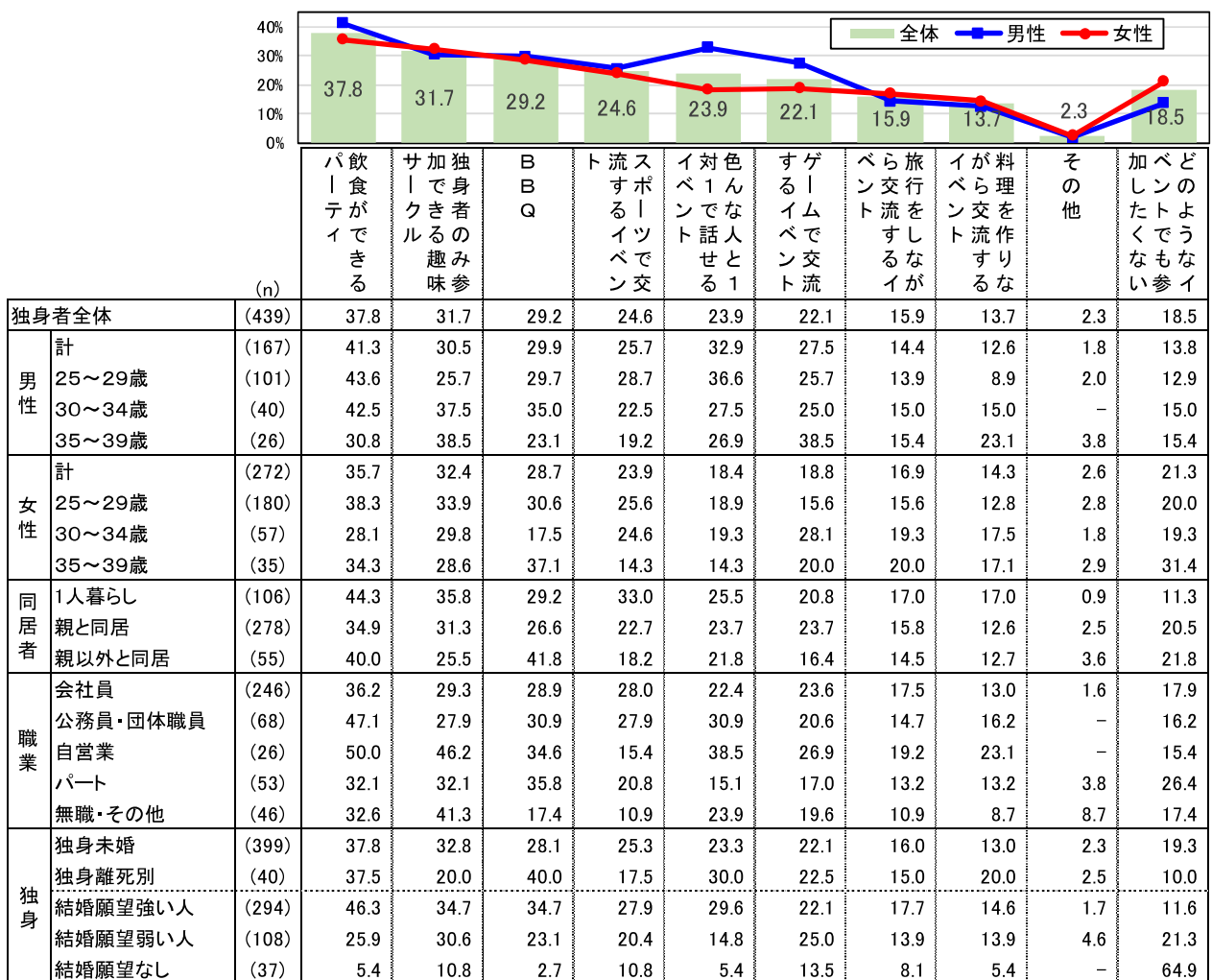
男性では「色んな人と1対1で話せるイベント」32.9%、「ゲームで交流するイベント」27.5%で、女性の「色んな人と1対1で話せるイベント」18.4%、「ゲームで交流するイベント」18.8%より高い。女性では「どのようなイベントでも参加したくない」は21.3%で男性の13.8%より高い。特に女性35～39歳で「どのようなイベントでも参加したくない」は31.4%と他の性・年代より高い。

同居者では、1人暮らしで「スポーツで交流するイベント」33.0%が親と同居22.7%、親以外と同居18.2%より高い。親以外と同居では子供との同居が多いためか、「BBQ」41.8%が最も高い。

独身未婚者では「独身者のみ参加できる趣味サークル」32.8%が独身離死別経験者20.0%より高い。独身離死別経験者では「BBQ」40.0%が最も参加したいイベントとなる。

結婚願望強い人では「飲食ができるパーティ」が46.3%と高い。結婚願望なしの人では「どのようなイベントでも参加したくない」がほぼ64.9%と高い。

Q22.どのようなイベントなら参加したいと思いますか。(回答はいくつでも)



※「その他」「どのようなイベントでも参加したくない」除く全体の高い順

(4) 婚活イベントへの希望

<開催時間>

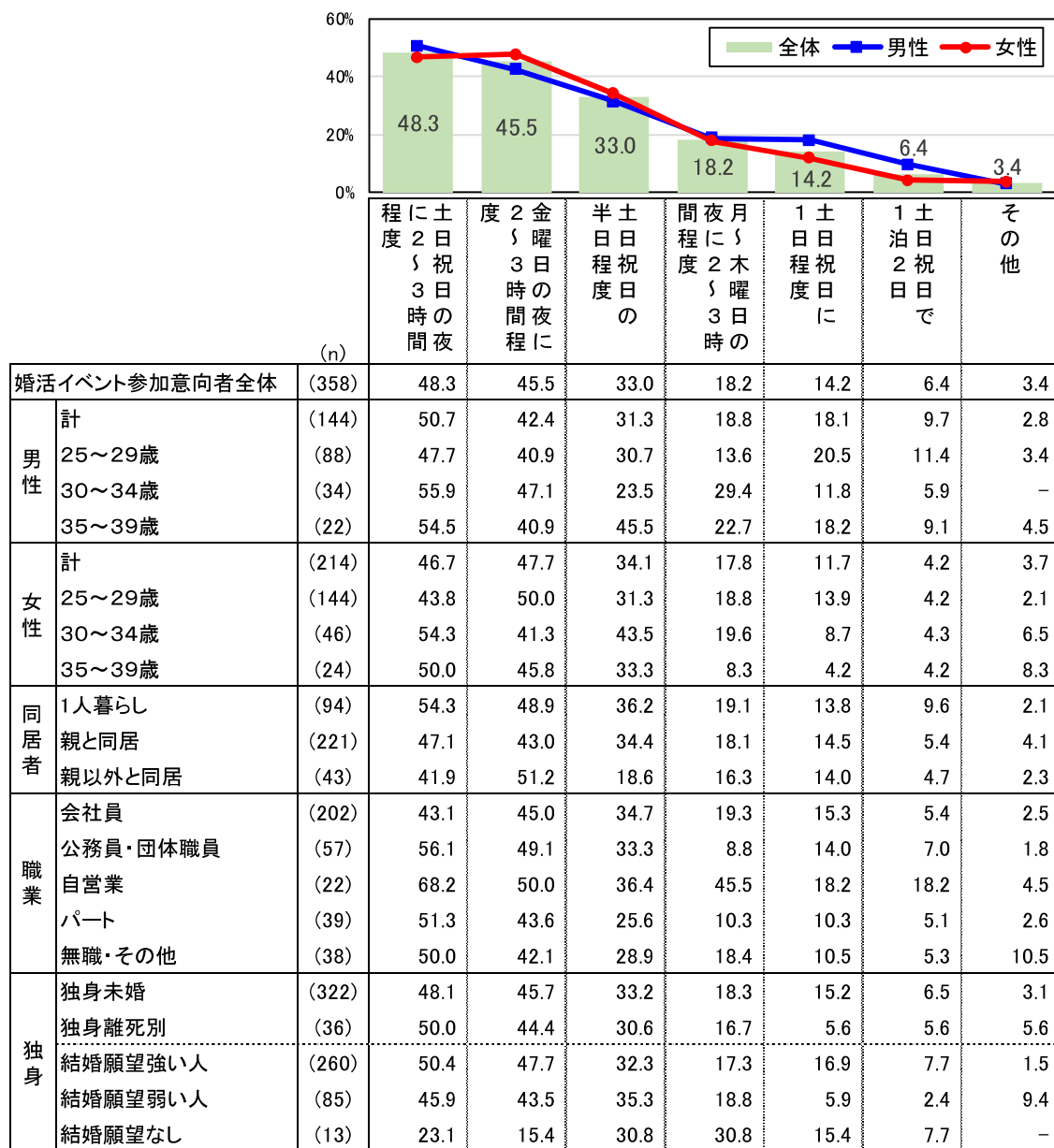
婚活イベント参加意向者全体では「土日祝日の夜に2～3時間程度」48.3%、「金曜日の夜に2～3時間程度」45.5%が高く、「土日祝日の半日程度」33.0%と続く。

男性では「土日祝日の夜に2～3時間程度」50.7%の方が「金曜日の夜に2～3時間程度」42.4%よりやや高いが、女性では「土日祝日の夜に2～3時間程度」46.7%と「金曜日の夜に2～3時間程度」47.7%は同程度となる。

同居者では、親以外と同居で「金曜日の夜に2～3時間程度」が51.2%で他の開催時間より高い。「土日祝日の半日程度」は18.6%と他の開催時間より低い。

職業では、自営業で「土日祝日の夜に2～3時間程度」が68.2%と高い。

Q23. 婚活イベントの開催時間として適していると思うものはどれですか。(回答はいくつでも)



※「その他」除く全体の高い順

＜相手の居住地＞

婚活イベント参加意向者全体では「どこでも」28.2%が最も高いが、あまり差がなく「福岡や長崎などの近隣県在住の人」25.1%、県内在住の人」24.6%と続く。

「県内在住」には「市内在住」も含まれるため、市内含む県内(県内許容者)は「市内在住の人」14.5%と「県内在住の人」24.6%を合計した 39.1%となる。これに「近隣県在住の人」25.1%を加えた 64.2%が近隣県まで許容できる率となり、6割を超える。

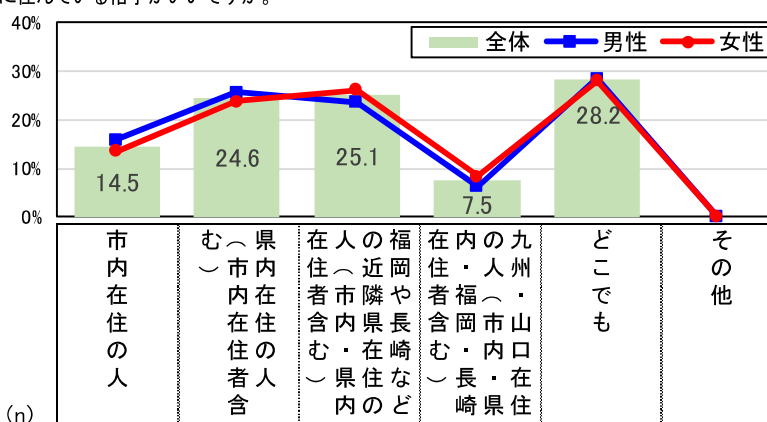
男性 35～39 歳では「どこでも」が高い。

同居者では、1 人暮らしで「どこでも」が 20.2%と親と同居 30.8%、親以外と同居 32.6%より低い。

独身未婚者では「どこでも」が 29.2%で高い。

結婚願望弱い人では「どこでも」が 37.6%と高い。

Q24.婚活イベントで出会う相手は、どこに住んでいる相手がいいですか。



婚活イベント参加意向者全体		(358)	14.5	24.6	25.1	7.5	28.2	—
男性	計	(144)	16.0	25.7	23.6	6.3	28.5	—
	25～29歳	(88)	14.8	21.6	29.5	10.2	23.9	—
	30～34歳	(34)	23.5	32.4	14.7	—	29.4	—
	35～39歳	(22)	9.1	31.8	13.6	—	45.5	—
女性	計	(214)	13.6	23.8	26.2	8.4	28.0	—
	25～29歳	(144)	12.5	21.5	24.3	10.4	31.3	—
	30～34歳	(46)	15.2	23.9	30.4	6.5	23.9	—
	35～39歳	(24)	16.7	37.5	29.2	—	16.7	—
同居者	1人暮らし	(94)	11.7	28.7	29.8	9.6	20.2	—
	親と同居	(221)	16.7	24.4	21.3	6.8	30.8	—
	親以外と同居	(43)	9.3	16.3	34.9	7.0	32.6	—
職業	会社員	(202)	13.4	23.3	27.7	7.4	28.2	—
	公務員・団体職員	(57)	12.3	33.3	22.8	10.5	21.1	—
	自営業	(22)	22.7	18.2	13.6	—	45.5	—
	パート	(39)	12.8	25.6	28.2	7.7	25.6	—
	無職・その他	(38)	21.1	21.1	18.4	7.9	31.6	—
独身	独身未婚	(322)	14.3	24.2	24.2	8.1	29.2	—
	独身離死別	(36)	16.7	27.8	33.3	2.8	19.4	—
	結婚願望強い人	(260)	16.2	23.1	28.8	8.1	23.8	—
	結婚願望弱い人	(85)	9.4	31.8	16.5	4.7	37.6	—
	結婚願望なし	(13)	15.4	7.7	7.7	15.4	53.8	—

6. 唐津市のサポートについて

(1) 市に行なってほしいサポート

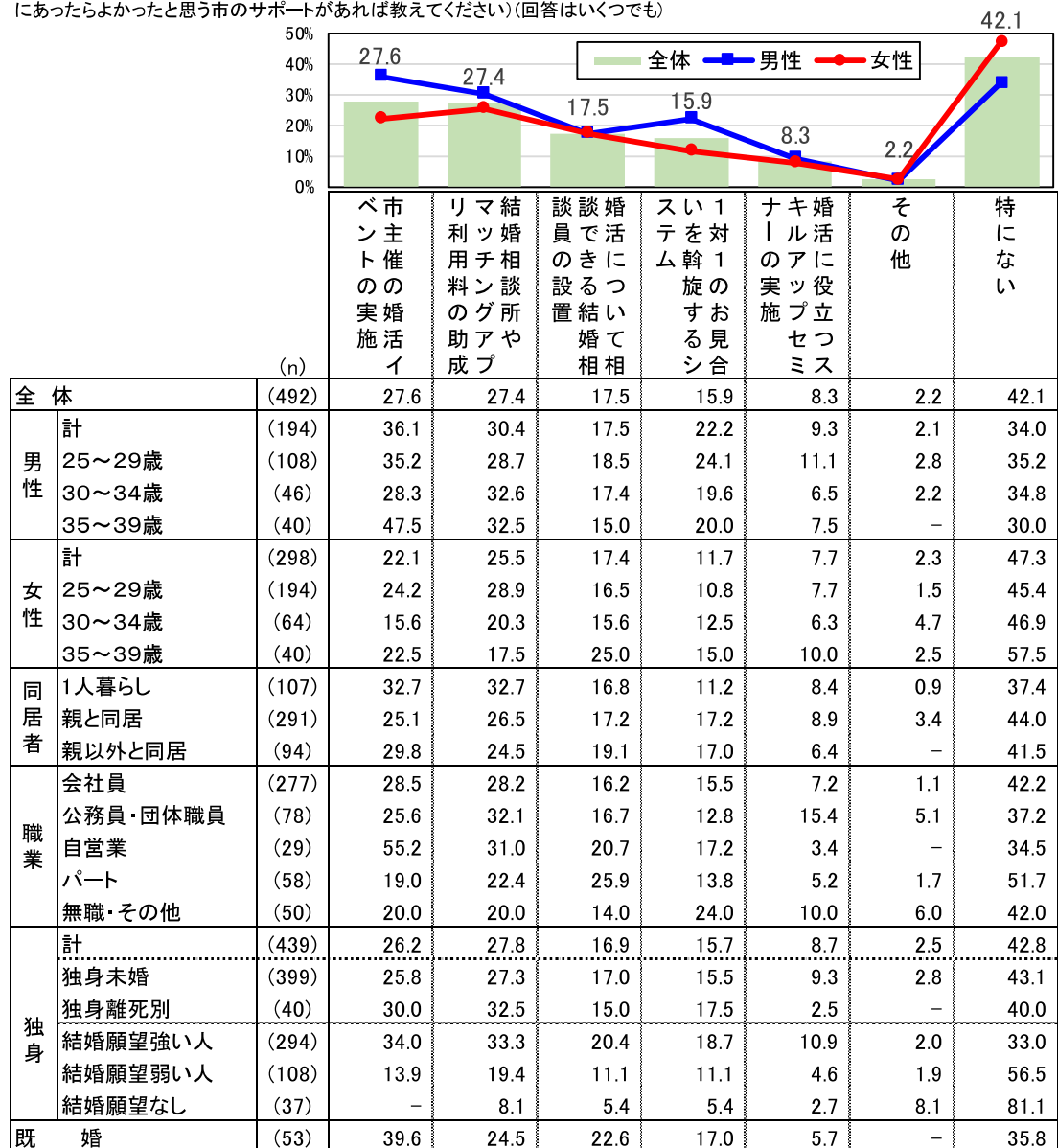
全体では「市主催の婚活イベントの実施」27.6%、「結婚相談所やマッチングアプリ利用料の助成」27.4%がほぼ同率で並ぶ。「婚活について相談できる結婚相談員の設置」17.5%、「1対1のお見合いを斡旋するシステム」15.9%と続く。

男性の方が女性より「市主催の婚活イベント」が高く、特に男性 35～39 歳では 47.5%と 5 割弱に達する。

職業では、自営業で「市主催の婚活イベント」が 55.2%と 5 割半ばに達する。

結婚願望強い人では「市主催の婚活イベントの実施」34.0%、「結婚相談所やマッチングアプリ利用料の助成」33.3%で 3 割を超える。結婚願望なしの人は「特にない」が 81.1%と 8 割を超える。

Q25.自身が交際・結婚相手と出会うきっかけのために市に行なってほしいサポートは何かありますか。(既婚者の方は、自身の結婚のためにあったらよかったと思う市のサポートがあれば教えてください)(回答はいくつでも)



※「その他」「特にない」除く全体の高い順

(2) 結婚に有効な取り組み

全体では「子育て・教育にかかる経済的支援」60.8%、「子育て支援」59.1%がほぼ6割で並ぶ。次に「結婚祝い金」49.2%、「新婚世帯の引越・家賃等にかかる経済的支援」48.0%が5割弱で続く。「結婚した方が有利になる税制や社会保障制度」42.1%までが4割を超える。

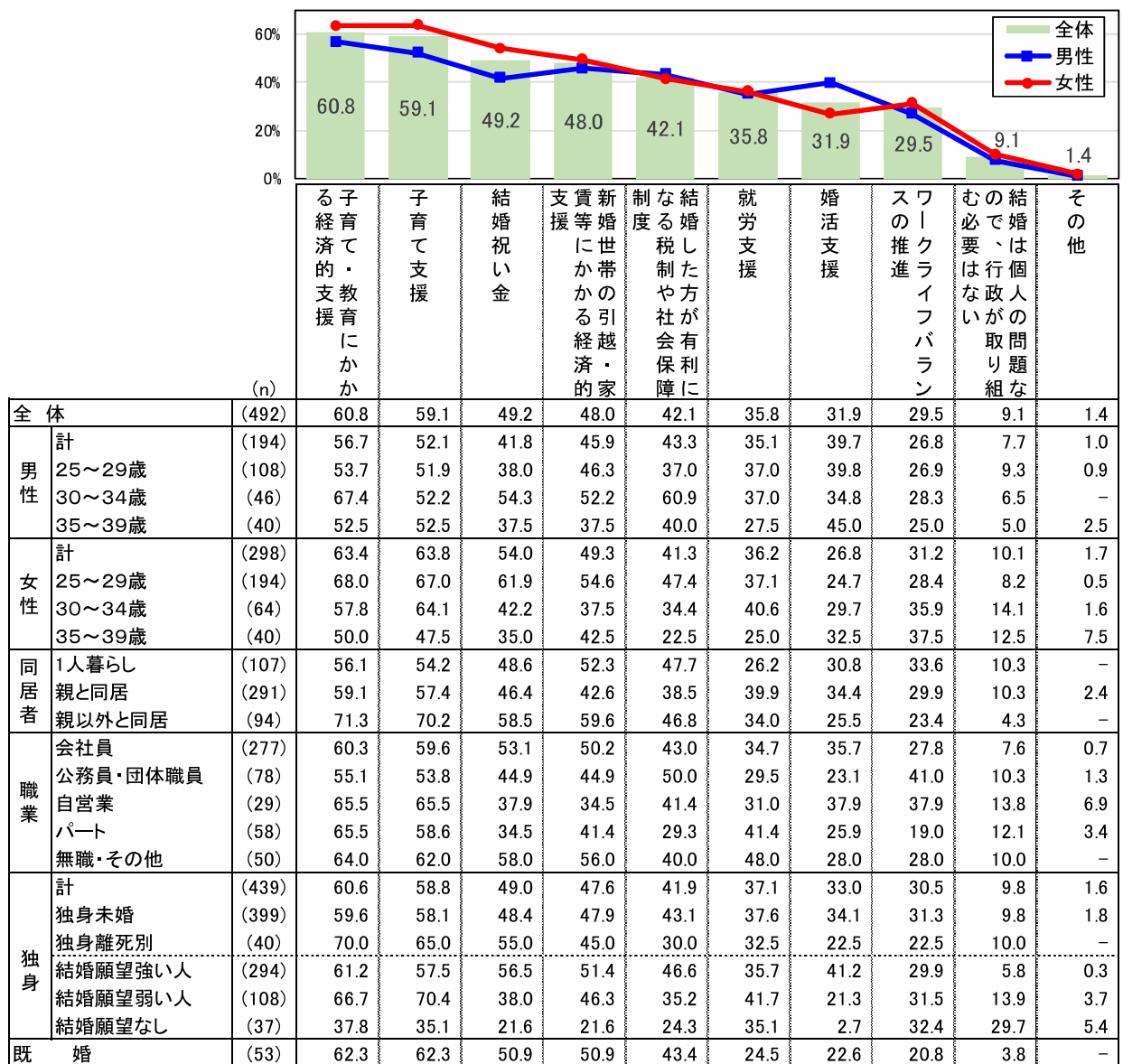
女性では「子育て・教育にかかる経済的支援」63.4%、「子育て支援」63.8%とも男性よりも高い。

同居者では、親以外と同居は子供との同居が多いため、「子育て・教育にかかる経済的支援」71.3%、「子育て支援」70.2%が高い。

職業では、無職・その他で「結婚祝い金」58.0%、「新婚世帯の引越・家賃等にかかる経済的支援」56.0%、「就労支援」48.0%が他の職業の人より高い。

結婚願望強い人では「結婚祝い金」56.5%、「結婚したほうが有利になる税制や社会保証制度」46.6%、「婚活支援」41.2%といった直接的な支援が弱い人よりも高い。結婚願望が弱い人では「子育て支援」70.4%など間接的な支援が高い。結婚願望なしでは「結婚は個人の問題なので行政が取り組む必要はない」が29.7%と強い人5.8%、弱い人13.9%より高い。

Q26.結婚の後押しとなる、結婚したくなるような取組として最も有効だと思うものを教えてください。(回答はいくつでも)



※「その他」「特になし」除く全体の高い順

(3) 唐津市への意見

出会い応援・結婚支援関係で唐津市に対しての意見を全員に自由回答で質問した。何らかの回答をした人は48人で、『婚活に関する要望や提案』が32件、「頑張って下さい」などの励ましや「よろしくお願いします」といった『挨拶』が8件、「既婚者に結婚支援のチラシを送ってくるのは不快」などのアンケートに対する不満や「局所的対応でなく、広い視点が必要。税金の無駄使いばかりしてやりましたよ」という口実作るのはやめてほしい。人と人をくっつけたいなら人が唐津に残ってくれるように、職員が志向を変えないといけない」など『ネガティブ』な反応が6件、「知り合いに会うと恥ずかしい」という感想が4件であった。

『婚活に関する要望や提案』32件の詳細は、以下の通り。

Q1.性別: 1.男性 2.女性 3.その他

Q2.年齢: 1.25～29歳 2.30～34歳 3.35～39歳

Q5.未婚: 1.独身(未婚) 2.独身(離死別) 3.既婚

Q27.唐津市への意見(婚活に関する要望や提案: 32件の詳細)

ID	Q1	Q2	Q5	Q27.「お祝い金/子育て支援/就労支援」: 14件
42	1	1	1	結婚した際のお祝い金をもっと金額を上げて欲しい
157	2	1	1	結婚することでもらえる手当金を作るべき。それがあつて結婚する人は少し増えていくと思います
168	2	1	1	お祝い金みたいなのがほしいです
217	1	1	1	お金がないので結婚する気になれない
296	2	2	2	金銭面で結婚式、子作りを躊躇う人達が増えると思う。他の県では取り組んでない助成などしたら目立つ。
342	2	1	1	結婚したいとは今は思っていますが、強いて言うなら若者の賃金の問題は大きいと思います。
400	2	2	3	出会い応援、結婚支援に力を入れるのであれば、その先の子育て支援や子を持つ母が仕事をしやすい環境を整えていただけると有難いです。
418	2	1	1	妊娠、出産しても経済的に困らないよう、仕事を続けられるように対策して欲しい。そして、国保税が高すぎる！これを安くして欲しい
446	2	2	3	他の市や県との交流も含めた婚活パーティー(男性向け)。女性は基本、金銭面や生活に不安になると思うので婚活の時から唐津の子育て支援など制度に関する不安を取り除く為の話とかもしっかりすべき
455	2	3	1	若い子たちが唐津市で結婚して子供をもうけたいと思えるような施策を望みます。
471	2	2	1	市税、物価は高く、給料が同世代全国平均よりもかなり低い。給料が低いので余裕がない。子育て世代の産休育休、子供関係の休み等で働き手が全て独身者にきていて、精神的にも余裕がないため、出会おうとする気力も湧かない。金銭的、精神的余裕ができれば出会いを見つけようという気になる。
476	1	1	1	唐津市内のデイサービスに勤務しています。給与面以外満足していますが、結婚願望もあり退職を日々考えています。ですが職場はギリギリの職員しかおらず、同僚や利用者の方のことを考えるとなかなか退職に踏み切れないでいます。低所得で働く男性が結婚しやすいような環境づくりに励んでいただけると幸いです。
479	2	3	1	こんな田舎出ていけたらみんな出ていく、貧乏人と学がない人しか残らない、在宅勤務で外の企業と繋がって仕事してくれる田舎に住みたい人が来なくなるような街作りをした方がいいと思う
490	2	1	3	結婚お祝い金などあれば嬉しいです。その他子育て支援など。

ID	Q1	Q2	Q5	Q27.「趣味サークルなどライトな婚活」: 7 件
405	2	2	1	結婚に興味がない人も多いと思うので、婚活ではないもっとライトなアプローチの方が響く場合があるかも。
411	1	1	1	恋愛したいと思っても、相手がイヤな人だなあと思ったとしても、キモイとか言われると凄く嫌だし、こっちからも、願い下げ!!って思います。そのために、憩の場をもうけて欲しい。
426	2	2	1	婚活を全面に出されると知人に会ったとき、気まずいので参加しづらい
455	2	3	1	結婚してる、してないではなく、地域活性化にも繋がるような適齢期の若者向けな催し(一見婚活と思わないような)が増えてくれたら参加者も増えるかも?と思います
464	2	1	1	みんながフラッと立ち寄れる民間企業でランチ会をしながら仲を深めることや、会話を楽しむ事をスタートアクションとして開催、そこからもっと仲を深めたいと思う男女は好きなイベントを考えてもらう(区役所管轄※例えばそのために動画を撮らせてもらう)など最初はイベントを作って与えながら、あとは自分たちで考えて動く仕組みを作れば良いと思います(自分達で動くということが、もっとふたりで会いたいと言う事だと思いますので)
465	2	1	1	市の婚活イベントに行ってみようかなとプラスのイメージをもっていました。しかし、「知人と会いそう」「いいと思うけど行かなあ」など、あと一押しあれば参加する、という印象です。市の婚活の“ブランディング”や“オシャレで楽しそうなイメージ”が非常に重要と思います。「いちごさん収穫しながら婚活」など、地域資源を活かした形や市内の飲食店やお店と組んで企画されるなど相乗効果を生み出す形にしていれば良いなと思います。
486	2	1	1	女性はどうしても、25 歳を過ぎると出会いが格段に減るので、20 代前半から出会い応援してもいいと思う。婚活とはいかなくても、出会いの場になるようなラフな趣味の集まりなどあれば来る人もあると思う。早い段階から出会いを作ることで、出会いの数が増え、結婚への機会が増えると思う。結婚と同時に唐津市に住所を何年か置いた人には特典があるとあれば、唐津市に住む魅力になるかも。唐津市に何年か住まないといけないという縛りの期間に子育て等始まれば、そのまま定住する人も出てきそう。

ID	Q1	Q2	Q5	Q27.「宣伝する」: 3 件
461	2	1	1	受けられるサポートをわかりやすく伝えてほしい。わかりやすく伝えることが難しい場合は、ここに相談すればとりあえずはなんとかかなと思える窓口だけは大きな声で伝えてほしい。困っていることに気づいていない人に困っている状況だと気づかせてあげてほしい。
473	1	3	1	市の行政が積極的に出会いの場を作り、しっかりと宣伝してもらえると沢山の人が助かるかと思えます。
482	1	1	1	唐津市で婚活支援の取り組みがある事を全く知らなかったなので、もっと大々的に宣伝して欲しい。

ID	Q1	Q2	Q5	Q27.「その他」: 8 件
27	2	1	1	同性カップルや同性婚についての理解を深め、行政としても支援できる形を取ってほしい。
371	1	3	1	もっとたくさんイベントを催して欲しい
384	2	2	2	人見知りでも参加できそうな環境が欲しい
399	1	1	1	街コンよろ
406	2	1	1	市主催の婚活イベントは、30 歳以上ではなく、20 代後半も参加できると嬉しいです。(私が 29 歳なので)
452	1	1	1	気軽にデートできる場所(きれいな美術館や資料館であったり、美観がいいストリートであったり、広く良く整備された遊歩道だったり)をより増やしてほしい
472	1	2	1	結婚できるタイミングがあればしてもよかったが、今の生活のままでいいやと考え続けてダラダラと引き延ばしてきた人間のアンケートです。結婚したい!しなければならぬ!というスイッチが入らないと行動しないと思っていましたが、身近な誰かと一緒に行動できるならサポートを受けてみていいのかなと思いました。
474	2	3	3	民間や県主催の婚活パーティに参加したが、県主催のものは、自らというより親や周りの人に行けと言われて来た人が多く、結婚願望が高い人ばかりというわけではなかったけど、普通の色んな人が多く、仲良くなりやすい。周りの人から勧めて参加させるといふ雰囲気も大事だと思います。もし知り合いに会っても親に言われて来たのと言えり。個人的にはお嬢さん希望だったので、そういう細かい条件面が明示されることも大事。それから、公務員の参加率も大事。公務員の参加率が高だけで、みんな参加するし周りの独身に勧める。男性も女性も、市役所の職員さんの参加はとても大事です。私もそうだったし、私の周りにも独身で結婚を望んでいる人が何人かいて、ぜひ支援してほしい。早く結婚できたら妊活にもゆとりをもって望めるし、子供も 2 人 3 人と産めるので。

※実際の回答から抜粋/一部訂正

『ネガティブ』6件の詳細は、以下の通り。

ID	Q1	Q2	Q5	Q27.ネガティブ:6件
48	1	3	3	妻が居るのに、こういった書類を送るのは辞めて欲しい。家族間のトラブルになる。謝罪をして欲しいレベルです！！
154	1	3	3	既婚者宛に結婚支援のチラシを送ってくるのは不快
351	2	2	2	シングル家庭には別の形で知らせが届いてほしい。
393	1	2	3	既婚者に出会いや応援が必要でしょうか？
402	1	3	3	アンケートのターゲットとしては、市役所の情報を活用し、近年結婚した夫婦、他県からの移動者など、参考となる情報源に絞ったアンケートをすべきだと考えます。また、自由記載欄が記載しにくく、意見を吸い上げることが難しいと考えます。予算についても93万円程度使用するのであれば、市役所やショッピングモール等で簡単な粗品を渡してアンケートした方が効果的かと思います。
462	1	2	1	局所的な対応よりそちらの部全体として大きく広い視点と横の繋がりを持って事を推進するべきでは？ こんなの対処療法にすらならないし、焼石に水だろ。あと無駄にしゃしゃり出てきて後は別の方でって、たらい回しするなら最初からもっと違う形を模索しろよ。税金の無駄使いばっかしてやりましたよって口実作りすんのいい加減にしとけよ。そもそも人と人をくっつけたいなら人が唐津に残ってくれるように考えて動くことにまず職員全員が思考を変えんと話にもならん

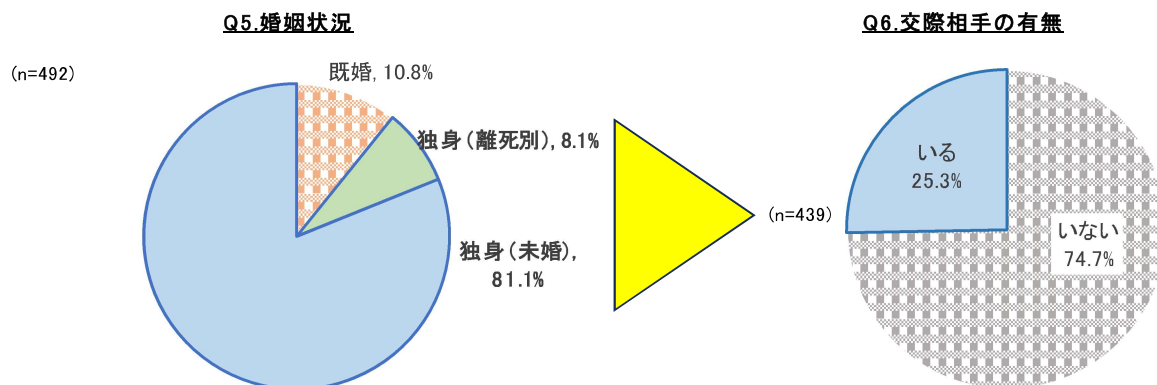
III. 調査結果の要約

1. 婚姻状況と結婚願望

(1) 婚姻・交際状況

今回調査した唐津市民 25～39 歳の有効回答では「独身(未婚)」が 81.1%、「独身(離死別)」が 8.1%であり、合計した「独身(計)」は 89.2%とほぼ 9 割に達する。

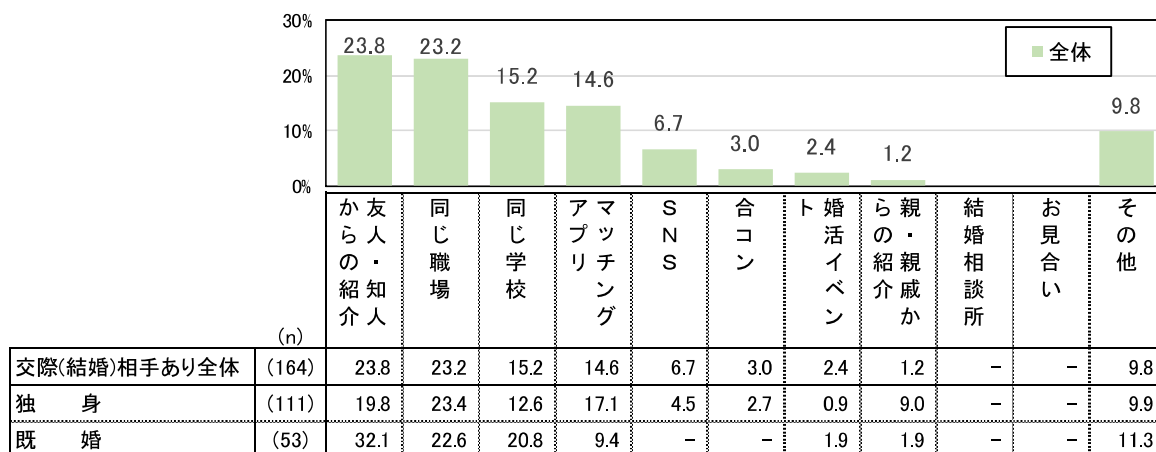
独身者に交際相手の有無を質問した結果では、「いない」が 74.7%とほぼ 7 割半ばに達する。



結婚相手や交際相手と知り合ったきっかけとしては、「友人・知人からの紹介」23.8%と「同じ職場」23.2%が 2 割強で並ぶ。「同じ学校」15.2%、「マッチングアプリ」14.6%と続く。

独身では「同じ職場」23.4%、「友人・知人からの紹介」19.8%の次に「マッチングアプリ」17.1%が高いのに対し、既婚者では「友人・知人からの紹介」32.1%、「同じ職場」22.6%、「同じ学校」20.8%の次に「マッチングアプリ」9.4%と、「マッチングアプリ」は独身者の方が高い。「マッチングアプリ」は独身者の交際相手と知り合うきっかけの一つにはなっているが、結婚にはつながりにくいことを示している。

Q7.交際(結婚)相手と知り合ったきっかけ



※「その他」除く全体の高い順

独身者の結婚していない理由では「適当な相手と出会っていないから」51.3%が最も高く、「1人で自由に過ごしたいから」33.9%、「結婚資金や結婚後の生活資金がないから」31.9%、「必要性を感じていないから」28.2%が 3 割前後で続く。男性女性とも「適当な相手と出会っていないから」が 5 割を超え最も大きな理由だが、男性では「結婚資金や結婚後の生活資金がないから」37.7%、女性では「1人で自由に過ごしたいから」39.7%がそれぞれ 2 番目の理由となる。

Q9.結婚していない理由

	全体 (439)	男性 (167)	女性 (272)
	%	%	%
適当な相手と出会っていないから	51.3	51.5	51.1
1人で自由に過ごしたいから	33.9	24.6	39.7
結婚資金や結婚後の生活資金がないから	31.9	37.7	28.3
必要性を感じていないから	28.2	21.0	32.7
恋愛や結婚に不安があるから	22.3	21.6	22.8
その他	7.3	5.4	8.5

(2) 結婚願望

独身者で結婚願望がある率は91.6%と9割を超える。「なるべく早くしたい」21.4%、「今すぐではないが5年以内ぐらいにしたい」28.2%、「いつかはしたい」17.3%を合計した「強い(計)」は、67.0%と7割弱に達する。弱い願望(「いい相手がいれたいが、いなければなくていい」)は24.6%で、「結婚するつもりはない」は8.4%と1割に届かない。性・年齢など属性別の特徴は以下の通り。

- 男性は「強い(計)」が76.6%と8割弱に達し、女性の61.0%より高い。男性女性とも年齢の若い方が「強い(計)」が高い。女性30歳以上になると「いい相手がいれたいが、いなければなくていい」(弱い)が4割を超える。
- 1人暮らしでは「強い(計)」も79.2%と高い。
- 公務員・団体職員の「強い(計)」は77.9%、会社員では71.1%と7割を超えるが、「パート」では47.2%、「無職・その他」では52.2%と5割前後にとどまる。
- 独身未婚者の「強い(計)」69.2%の方が離死別経験者の45.0%より高く、結婚願望が強い。離死別経験者では「いい相手がいれたいが、いなければなくていい」(弱い)がちょうど50.0%に達し、結婚願望が弱くなっている。
- 交際相手がいる人の「強い(計)」は89.2%でいない人の59.5%より高く、結婚願望が強い。

Q8.結婚願望

		(n)	%					強い(計)	願望あり(計)
独身者全体		(439)	21.4	28.2	17.3	24.6	8.4	67.0	91.6
男性	計	(167)	21.0	34.1	21.6	17.4	6.0	76.6	94.0
	25～29歳	(101)	20.8	41.6	17.8	14.9	5.0	80.2	95.0
	30～34歳	(40)	17.5	30.0	27.5	15.0	10.0	75.0	90.0
	35～39歳	(26)	26.9	11.5	26.9	30.8	3.8	65.4	96.2
女性	計	(272)	21.7	24.6	14.7	29.0	9.9	61.0	90.1
	25～29歳	(180)	24.4	32.2	14.4	21.7	7.2	71.1	92.8
	30～34歳	(57)	14.0	10.5	17.5	43.9	14.0	42.1	86.0
	35～39歳	(35)	20.0	8.6	11.4	42.9	17.1	40.0	82.9
同居者	1人暮らし	(106)	22.6	41.5	15.1	14.2	6.6	79.2	93.4
	親と同居	(278)	21.2	23.7	18.7	26.6	9.7	63.7	90.3
	親以外と同居	(55)	20.0	25.5	14.5	34.5	5.5	60.0	94.5
職業	会社員	(246)	21.1	31.7	18.3	22.0	6.9	71.1	93.1
	公務員・団体職員	(68)	30.9	35.3	11.8	16.2	5.9	77.9	94.1
	自営業	(26)	23.1	19.2	23.1	26.9	7.7	65.4	92.3
	パート	(53)	9.4	17.0	20.8	37.7	15.1	47.2	84.9
	無職・その他	(46)	21.7	17.4	13.0	34.8	13.0	52.2	87.0
独身	独身未婚	(399)	22.8	30.1	16.3	22.1	8.8	69.2	91.2
	独身離死別	(40)	7.5	10.0	27.5	50.0	5.0	45.0	95.0
交際相手がいる		(111)	31.5	45.0	12.6	7.2	3.6	89.2	96.4
交際相手がいない		(328)	18.0	22.6	18.9	30.5	10.1	59.5	89.9

(3) 婚活実態

独身者の婚活(＝結婚相手(交際相手)を探すための行動)経験では「現在している」12.0%、「以前していたことがある(今はしていない)」38.2%で、合計した「経験あり(計)」は50.2%と5割に達する。更に「したことはないが、いつかはしようと思っている」21.7%を加えると、結婚相手を探すために何らかの行動を起こす可能性のある人は71.9%で7割を超える。

結婚願望強い人の「可能性あり(計)」は86.1%、結婚願望弱い人でも64.8%と6割を超える。結婚願望なしの人は10.8%と低く、婚活をする可能性は低い。

Q16.交際相手を探すための行動経験

		(n)	<input type="checkbox"/> 現在している <input type="checkbox"/> 以前していたことがある(今はしていない) <input type="checkbox"/> したことはないが、いつかはしようと思っている <input type="checkbox"/> したことはない(今後する予定もない)				%	経験あり (計)	可能性あり(計)
全 体		(492)	12.0	38.2		21.7	28.0	50.2	71.9
独 身	計	(439)	13.2	37.4		23.9	25.5	50.6	74.5
	結婚願望強い人	(294)	17.7	41.5		26.9	13.9	59.2	86.1
	結婚願望弱い人	(108)	5.6	36.1		23.1	35.2	41.7	64.8
	結婚願望なし	(37)	8.1	2.7	89.2			8.1	10.8
既 婚		(53)	1.9	45.3		3.8	49.1	47.2	51.0

婚活の具体的な活動としては、「友人・知人に紹介してもらう」が 64.4%で最も高く、次の「マッチングアプリを利用する」54.7%までが 5 割を超え、この 2 つが主な婚活となる。特に女性の「マッチングアプリを利用する」は 59.9%で、「友人・知人に紹介してもらう」と並んで、よく利用されている。

Q17. 婚活の具体的な行動

Q17.婚活の具体的な行動	全体	男性	女性
	(247)	(105)	(142)
	%	%	%
友人・知人に紹介してもらう	64.4	66.7	62.7
マッチングアプリを利用する	54.7	47.6	59.9
合コンに参加する	23.1	21.9	23.9
婚活イベントに参加する	18.6	19.0	18.3
結婚相談所へ登録する	5.3	4.8	5.6
親・親戚に紹介してもらう	5.3	3.8	6.3
その他	3.6	2.9	4.2

「婚活イベント」情報の収集方法では「インターネット」が80.4%で圧倒的に高い。次は「自治体のHP」15.2%、「自治体が発行する市報や行政放送」8.7%と自治体関係が続く。自治体関係は「テレビ」6.5%、「雑誌」4.3%、「新聞、折り込みチラシ」2.2%のマスメディアよりも高い。

Q18.婚活イベント情報収集方法(n=46) %

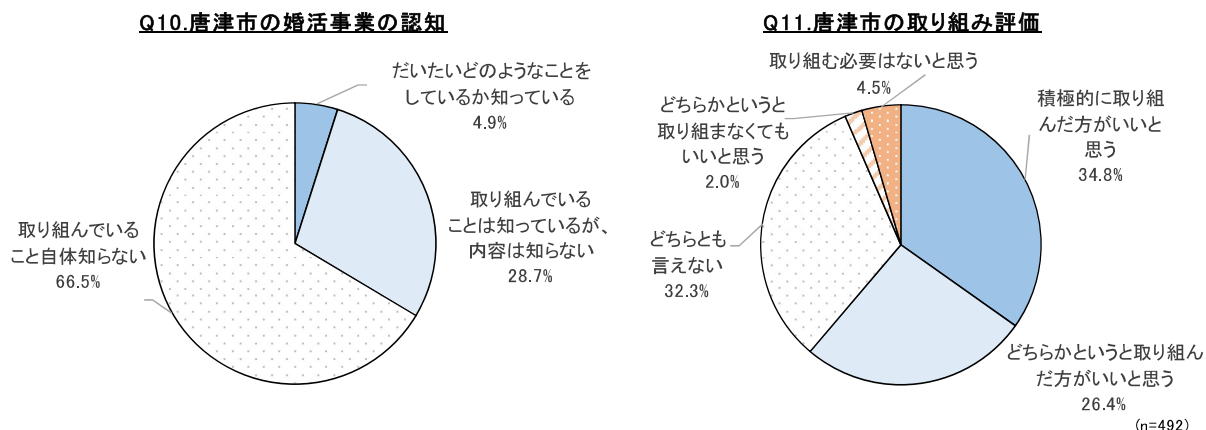
インターネット	80.4
自治体のHP	15.2
自治体が発行する市報や行政放送	8.7
テレビ	6.5
雑誌	4.3
新聞、折り込みチラシ	2.2
その他	17.4

2. 考察～婚活事業の方向性～

(1) 唐津市の婚活事業

唐津市が婚活事業に取り組んでいることの認知率は33.5%で、7割弱の人が取り組んでいることを知らない結果になった。特に内容まで知っていると思われる「だいたいどのようなことをしているか知っている」は4.9%と低く、内容理解と認知率を高めることがまずは重要である。

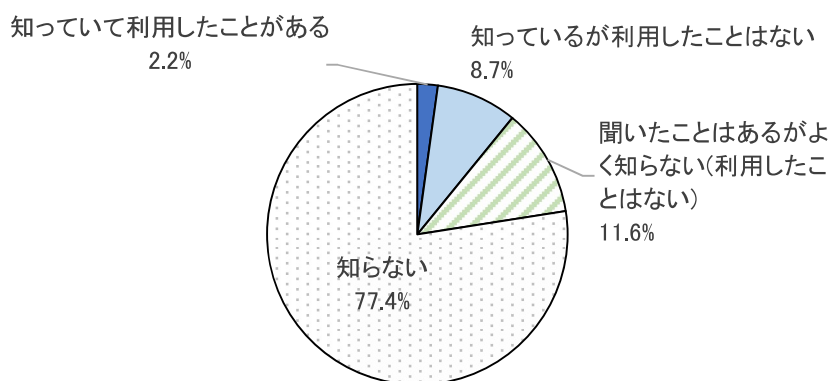
唐津市の婚活事業については、「積極的に取り組んだ方がいいと思う」34.8%、「どちらかというところ取り組んだ方がいいと思う」26.4%で、合計した「取り組んだ方がいいと思う(計)」は61.2%と6割を超えており、市が積極的に婚活事業に取り組んでも若年層市民の理解は得られそうだ。



(2) さが出会いサポートセンター

さが出会いサポートセンターの利用率(「知っていて利用したことがある」)は2.2%と低い。「知っているが利用したことはない」8.7%、「聞いたことはあるがよく知らない(利用したことはない)」11.6%を合計した「認知(計)」も22.6%で2割程度にとどまっている。唐津市の婚活事業と同様に、まずは認知率を高めることが重要である。

Q13.さが出会いサポートセンターの認知



独身者のさが出会いサポートセンターの利用意向では、「利用したい」5.7%、「やや利用したい」12.8%で、合計した「利用したい(計)」は18.5%であり実際の利用率2.5%を大きく上回る。さが出会いサポートセンターの不利用意向としても「よくわからないから」が43.0%と高いことから、認知や内容理解を高めれば、利用率は向上する可能性が高い。

Q14.さが出会いサポートセンターの利用意向

	(n)	■利用したい	□やや利用したい	□どちらともいえない	□あまり利用したくない	□利用したくない	%	利用したい(計)
独身全体	(492)	5.7	12.8	37.6	17.1	26.9		18.5
結婚願望強い人	(294)	8.2	15.6	39.1	16.0	21.1		23.8
結婚願望弱い人	(108)	8.3		42.6	22.2	25.9		9.3
結婚願望なし	(37)	2.7	10.8	10.8	75.7			2.7

Q15.不利用理由(n=358)

	%
よくわからないから	43.0
このようなシステムを使うことに抵抗があるから	28.2
理想とする人と出会えなさそうだから	23.5
既に交際相手がいるから	17.9
登録者が少ないから	10.6
県外の人と出会いたいから	9.8
その他	13.4

(3) 認知率を高めるために有効なメディア

認知率を高めるための方法としては、市のイベント情報発信に適している「唐津市のLINE」53.3%が最も有効と言えるが、「市報」42.1%、「お店などにポスターを掲示」39.6%、「テレビ」36.8%、「唐津市のHP」32.3%も3割以上の回答率であり、活用が望まれる。婚活イベントの情報源としては「インターネット」80.4%が圧倒的に高いことから「唐津市のLINE」や「唐津市のHP」を中心に具体的な情報発信を行うことが有効と思える。

Q12.市のイベント情報発信に適しているメディア

	(n=492)	%
唐津市のLINE		53.3
市報		42.1
お店などにポスターを掲示		39.6
テレビ		36.8
唐津市のHP		32.3
行政放送		10.8
唐津市のFacebook		10.4
その他		4.7

Q18.婚活イベント情報の収集方法

	(n=46)	%
インターネット		80.4
自治体のHP		15.2
自治体が発行する市報や行政放送		8.7
テレビ		6.5
雑誌		4.3
新聞、折り込みチラシ		2.2
その他		17.4

(4) 婚活イベント

独身者の唐津市主催『婚活イベント』への参加意向率(参加したいと「思う(計)」)は22.3%、『ライトなイベント』への参加意向率(参加したいと「思う(計)」)は47.8%と5割弱に達し、25.5%も高くなる。特に女性や会社員、パート、結婚願望弱い人のアップ率は30%程度と大きく、『ライトなイベント』ではこれらの人たちの新たな参加が見込まれる。結婚願望なしの人はライトなイベントでも参加したいと「思う(計)」は2.7%と低く、参加は難しそうである。

Q19.唐津市主催婚活イベントへの参加意向

Q21.ライトなイベントへの参加意向

		□参加したいと思う(計)			□どちらとも言えない			□参加したいと思わない(計)			参加意向 アップ率	
		(n)										
独身者全体		(439)	22.3	30.8	46.9				47.8	23.0	29.2	25.5
性別	男性	(167)	35.9	28.7	35.4				52.1	26.9	21.0	16.2
	女性	(272)	14.0	32.0	54.0				45.2	20.6	34.2	31.2
職業	会社員	(246)	24.4	31.3	44.3				52.4	22.4	25.2	28.0
	公務員・団体職員	(68)	23.5	35.3	41.2				44.1	26.5	29.4	20.6
	自営業	(26)	26.9	23.1	50.0				46.2	19.2	34.6	19.3
	パート	(53)	9.4	34.0	56.6				39.6	22.6	37.8	30.2
	無職・その他	(46)	21.7	21.7	56.6				39.1	23.9	36.9	17.4
願望	結婚願望強い人	(294)	29.3	33.3	37.4				56.1	24.1	19.7	26.8
	結婚願望弱い人	(108)	11.1	33.3	55.6				40.7	24.1	35.2	29.6
	結婚願望なし	(37)	97.3						10.8	86.5		2.7

参加したいイベントとしては「飲食ができるパーティ」37.8%が4割弱で最も高く、「独身者のみ参加できる趣味サークル」31.7%、「BBQ」29.2%までがTOP3である。

開催希望時間は「土日祝日の夜2～2時間程度」48.3%、「金曜日の夜2～3時間程度」45.5%が高い。

相手に望む居住地は「福岡や長崎などの近隣県在住まで(市内、県内含む)」64.2%である。

最も参加したくなるイベントとしては、「飲食ができるパーティ」で「土日祝日」か「金曜日」の「夜に2～3時間程度」で「市内、県内を含めた近隣県在住まで」になる。

Q22.参加したいイベント(20%以上)

(n=492)	%
飲食ができるパーティ	37.8
独身者のみ参加できる趣味サークル	31.7
BBQ	29.2
スポーツで交流するイベント	24.6
色んな人と1対1で話せるイベント	23.9
ゲームで交流するイベント	22.1

Q23.イベント開催希望時間(上位3項目)

(n=492)	%
土日祝日の夜に2～3時間程度	48.3
金曜日の夜に2～3時間程度	45.5
土日祝日の半日程度	33.0

Q24.出会う相手の希望居住地(累積)

(n=492)	%
市内在住のみ	14.5
県内在住まで	39.1
福岡や長崎などの近隣県在住まで	64.2
九州・山口在住まで	71.7
どこでも	28.2

参考までに唐津市への意見(自由回答)で回答された具体的な婚活イベントは以下の通りである。

- 地域活性化にも繋がるような適齢期の若者向けの催し(一見婚活と思わないような)が増えてくれたら
- みんながフラッと立ち寄れる民間企業でランチ会をしながら仲を深める、会話を楽しむ事をスタートアクションとして開催。そこからもっと仲を深めたいと思う男女は好きなイベントを市の管轄で考えてもらう
- 「いちごさん収穫しながら婚活」など、地域資源を活かした形や市内の飲食店やお店と組んだ企画
- 20代前半からの出会い応援
- 婚活とはいかなくても、出会いの場になるようなラフな趣味の集まり
- 街コン
- 市主催の婚活イベントは、30歳以上ではなく、20代後半も参加できると嬉しい
- 気軽にデートできる場所(きれいな美術館、美観ストリート、広く良く整備された遊歩道)をより増やしてほしい
- もし知り合いに会っても親に言われて来たと言えるので周りの人から勧めて参加させる雰囲気
- 個人的にはお婿さん希望だったので、そういう細かい条件面が明示されることも大事
- 公務員の参加率も大事。公務員の参加率が高いだけで、みんな参加するし周りの独身に勧める

附. Web 調査画面

唐津市結婚に関するアンケート

このたびは『唐津市結婚に関するアンケート』にご協力いただき、誠にありがとうございます。

《ご回答にあたってのお願い》

※ブラウザやスマートフォンの「←（戻る）」「→（進む）」機能は使用しないでください。画面が正常に動かなくなりま
す。必ず、画面下の青色のボックスの「次へ>>」をクリックして移動してください。「<<戻る」ボタンはありません。
（一度、回答すると前の質問には戻れません。）

※質問文に（回答は1つだけ）（回答はいくつでも）などの指示があります。指示にしたがって1つ、または、あてはまる
もののいくつでも選択してください。

※回答が「その他」に当てはまる場合、右のボックスになるべく具体的にその内容を入力してください。

Q1.あなたの性別を教えてください。(回答は1つだけ)

- ☐ 男性
- ☐ 女性
- ☐ その他

Q2.あなたの年齢を教えてください。(回答は1つだけ)

- ☐ 25～29歳
- ☐ 30～34歳
- ☐ 35～39歳
- ☐ 上記以外

Q2で「上記以外」の人に

今回の対象条件にあてはまりませんでした。
ご協力ありがとうございました。

最後に、「送信>>>」ボタンをクリックしてください。

Q3.あなたが現在、同居しているご家族を選択肢から選んでください。(回答はいくつでも)

☐ 1人暮らし

☐ 親

☐ 祖父母

☐ 夫または妻

☐ 子

☐ 兄弟姉妹

☐ おじ・おば

☐ その他

Q4.あなたの職業を教えてください。(回答は1つだけ)

☐ 会社員

☐ 公務員

☐ 自営業

☐ 団体職員

☐ パート

☐ 無職

☐ その他

Q5.あなたは現在、結婚していますか。(回答は1つだけ)

☐ 独身(未婚)

☐ 独身(離別別)

☐ 既婚

Q6.あなたは現在、付き合っている人(交際相手)はいますか。(回答は1つだけ)

☐ いる

☐ いない

Q7.結婚相手または交際相手と知り合ったきっかけを教えてください。(回答は1つだけ)

- ☐ 同じ学校
- ☐ 同じ職場
- ☐ 友人・知人からの紹介
- ☐ 親・親戚からの紹介
- ☐ 合コン
- ☐ マッチングアプリ
- ☐ 結婚相談所
- ☐ 婚活イベント
- ☐ お見合い
- ☐ SNS
- ☐ その他

Q8.今後結婚したいと思いますか。(回答は1つだけ)

- ☐ なるべく早くしたい
- ☐ 今すぐではないが5年以内くらいにしたい
- ☐ いつかはしたい
- ☐ いい相手がいればしたいが、いなければなくてもいい
- ☐ 結婚するつもりはない

Q9.あなたが現在、結婚していない理由について教えてください。(回答はいくつでも)

- ☐ 必要性を感じていないから
- ☐ 1人で自由に過ごしたいから
- ☐ 適当な相手と出会っていないから
- ☐ 恋愛や結婚に不安があるから
- ☐ 結婚資金や結婚後の生活資金がないから
- ☐ その他

Q10.唐津市が婚活イベントなどの婚活事業に取り組んでいることを知っていますか。(回答は1つだけ)

- ☐ だいたいどのようなことをしているか知っている

Q11.市が婚活事業に取り組むことについてどう思いますか。(回答は1つだけ)

- ☐ 積極的に取り組んだ方がいいと思う
- ☐ どちらかというに取り組んだ方がいいと思う
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ どちらかというに取り組まなくてもいいと思う
- ☐ 取り組む必要はないと思う

Q12.婚活情報に限らず、市からのイベント情報発信として適しているものはどれだと思いますか。(回答はいくつでも)

- ☐ 市報
- ☐ 行政放送
- ☐ 鹿津市のHP
- ☐ 鹿津市のFacebook
- ☐ 鹿津市のLINE
- ☐ 新聞、折り込みチラシ
- ☐ テレビ
- ☐ お店などにポスターを掲示
- ☐ その他

Q13.さが出会いサポートセンターを知っていますか。(回答は1つだけ)

- ☐ 知っていて利用したことがある
- ☐ 知っているが利用したことはない
- ☐ 聞いたことはあるがよく知らない(利用したことはない)
- ☐ 知らない

Q14.さが出会いサポートセンターは佐賀県が運営する「結婚を希望する男女の1：1のお見合いを提供するサービス」です(登録者はR5年5月末で746人です)。利用料は年間5,000円で、登録されている異性のプロフィールを見て、会ってみたい異性を選ぶことができます。このサービスを利用してみたいと思いますか。(回答は1つだけ)

- ☐ 利用したい
- ☐ やや利用したい
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまり利用したくない
- ☐ 利用したくない

Q15. さが出会いサポートセンターを[@Q14@]と思う理由は何ですか。(回答はいくつでも)

- ☐ よくわからないから
- ☐ 登録者が少ないから
- ☐ このようなシステムを使うことに抵抗があるから
- ☐ 県外の人と出会いたいから
- ☐ 理想とする人と出会えなさそうだから
- ☐ 既に交際相手がいるから
- ☐ その他

Q16. 結婚(交際)相手を探すために行動をしていますか。(既婚者・交際相手がいる方は、過去にしていたことがあるかどうか教えてください) (回答は1つだけ)

- ☐ 現在している
- ☐ 以前していたことがある(今はしていない)
- ☐ したことはないが、いつかはしようと思っている
- ☐ したことがない(今後する予定もない)

Q17. 結婚(交際)相手を探すためにどのようなことをしていますか。またはしていたことがありますか。(回答はいくつでも)

- ☐ 友人・知人に紹介してもらう
- ☐ 親・親戚に紹介してもらう
- ☐ マッチングアプリを利用する
- ☐ 結婚相談所へ登録する
- ☐ 合コンに参加する
- ☐ 婚活イベントに参加する
- ☐ その他

Q18.婚活イベントの情報はどうやって収集していますか。またはしていましたか。(回答はいくつでも)

- ☐ 自治体が発行する市報や行政放送
- ☐ 自治体のHP
- ☐ インターネット（Webでの検索）
- ☐ 新聞、折り込みチラシ
- ☐ テレビ
- ☐ 雑誌
- ☐ その他

Q19.唐津市主催の婚活イベントに参加したいと思いますか。(回答は1つだけ)

- ☐ 思う
- ☐ やや思う
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまり思わない
- ☐ 思わない

Q20.唐津市主催の婚活イベントに参加したくない理由を教えてください。(回答はいくつでも)

- ☐ 市主催に関わらず、そもそも婚活イベントに参加したくない
- ☐ 知り合いに会いたくない
- ☐ 内容が面白くなさそう
- ☐ 参加者が集まらなさそう
- ☐ その他
- ☐ 特に理由はない

Q21.「婚活イベント」ではなく、「恋活」、「交流会」、「独身者が参加できる趣味サークル」のようなライトなものであれば参加したいと思いますか。

- ☐ 思う
- ☐ やや思う
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまり思わない
- ☐ 思わない

Q22.どのようなイベントなら参加したいと思いますか。(回答はいくつでも)

- ☐ B B Q
- ☐ 飲食ができるパーティ
- ☐ 色んな人と1対1で話せるイベント
- ☐ スポーツで交流するイベント
- ☐ ゲームで交流するイベント
- ☐ 旅行をしながら交流するイベント
- ☐ 料理を作りながら交流するイベント
- ☐ 独身者のみ参加できる趣味サークル
- ☐ その他
- ☐ どのようなイベントでも参加したくない

Q23.婚活イベントの開催時間として適していると思うものはどれですか。(回答はいくつでも)

- ☐ 月～木曜日の夜に2～3時間程度
- ☐ 金曜日の夜に2～3時間程度
- ☐ 土日祝日の夜に2～3時間程度
- ☐ 土日祝日の半日程度
- ☐ 土日祝日に1日程度
- ☐ 土日祝日で1泊2日
- ☐ その他

Q24.婚活イベントで出会う相手は、どこに住んでいる相手がいいですか。(回答は1つだけ)

- ☐ 市内在住の人
- ☐ 県内在住の人(市内在住者含む)
- ☐ 福岡や長崎などの近隣県在住の人(市内・県内在住者含む)
- ☐ 九州・山口在住の人(市内・県内・福岡・長崎在住者含む)
- ☐ どこでも
- ☐ その他

Q25.自身が交際・結婚相手と出会うきっかけのために市に行ってほしいサポートは何かありますか。（既婚者の方は、自身の結婚のためにあったらよかったと思う市のサポートがあれば教えてください）（回答はいくつでも）

- ☐ 市主催の婚活イベントの実施
- ☐ 婚活について相談できる結婚相談員の設置
- ☐ 婚活に役立つスキルアップセミナーの実施
- ☐ 1対1のお見合いを斡旋するシステム
- ☐ 結婚相談所やマッチングアプリ利用料の助成
- ☐ その他
- ☐ 特になし

Q26.結婚の後押しとなる、結婚したくなるような取組として最も有効だと思うものを教えてください。（回答はいくつでも）

- ☐ 婚活支援（婚活イベント等の出会い支援）
- ☐ 就労支援（雇用の確保や賃金改善等）
- ☐ 子育て支援（仕事子育ての両立支援等）
- ☐ ワークライフバランスの推進
- ☐ 結婚した方が有利になる税制や社会保障制度
- ☐ 子育て・教育にかかる経済的支援
- ☐ 新婚世帯の引越・家賃等にかかる経済的支援
- ☐ 結婚祝い金
- ☐ 結婚は個人の問題なので、行政が取り組む必要はない
- ☐ その他

Q27.アンケートにご協力いただきありがとうございました。何か出会い応援・結婚支援関係で唐津市にご意見があればお願いします。（自由回答）